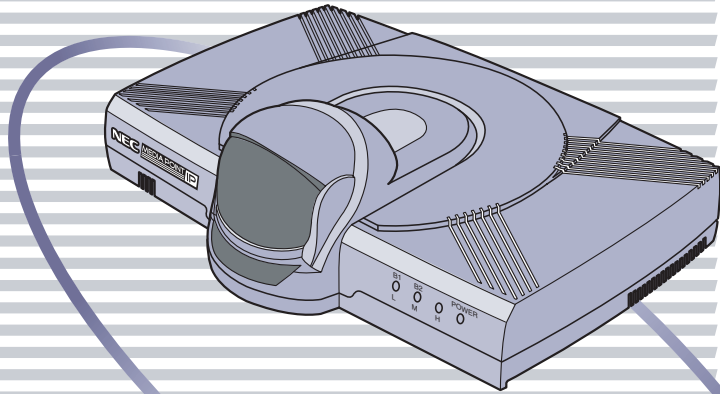


MEDIA POINT **IP**



## MEDIA POINT IP2 TC-2200シリーズ 取扱説明書

## はじめに

このたびはMediaPoint IP2をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
 本書は、装置を安全にお使いいただくための使用上のご注意、セットアップの方法、操作の方法、および故障かなと思ったときの対処のしかたなどを説明しています。  
 本書をよくお読みになり、末永くご愛用ください。

## 使用上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

### 警告マークについて

本書で使用している安全に関わる表示と、図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。



**警告** 指示を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



**注意** 指示を守らないと、人が障害を負うおそれがある内容および物的損害が想定される内容を示しています。

### 警告表示の種類



発煙または発火のおそれがあることを示しています。



感電のおそれがあることを示しています。



けがを負うおそれがあることを示しています。



安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。



安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。



安全のため、アース線を必ず接続するように指示するものです。

## 電源に関するご注意



### 警告



- 電源はAC100V ±10V(50/60Hz)の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- 電源コードの上に物を載せないでください。コードの損傷により、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの接続は、テーブルタップ、分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。コンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは、必ず本機に添付のものをお使いください。他のものを使用されると、火災、故障の原因となります。



### 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードの損傷による火災、感電原因となることがあります。



- 濡れた手で電源プラグおよびACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグをコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。感電の原因となることがあります。
- 機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

## 保管および使用環境に関するご注意



### 警告



- 本機を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- 設置環境条件は温度5～35℃/湿度20～80%です(結露しないようにご注意ください)。



### 注意



- 本機を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 本機を不安定な場所(不安定な台の上や傾いた所など)に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- 本機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- ラジオやテレビの受信している付近で使用しないでください。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本機の動作が異常になることがあります。
- 本機をテレビに接続した状態でテレビ放送を受信すると、画面にノイズが入ることがあります。このような場合、本機の電源をオフにしてご使用ください。
- 本機は空冷のため、通気孔に物を置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本機の側面を5cm以上空けてください。

## 禁止事項



### 警告



- 本機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。



- アース線は、絶対にガス管につながないでください。



- 当社サービスマン以外は、本機を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- 当社サービスマン以外は、本機内部の点検、調整、掃除、修理は危険ですから絶対にしないでください。本機の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。

- 本機内部の点検、調整、掃除、修理は、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターに依頼してください。



### 注意



- 本機や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機の上に乗ったりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。

- 本機の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

## 異常時およびトラブルに関するご注意



### 警告



- 万一、本機の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 万一、本機を落としたり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

- 電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



### 注意



- 落雷のおそれがあるときは、本機の電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控えください。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないでください。感電の原因となることがあります。



## お手入れに関するご注意

### ⚠ 注意

- 本機のお手入れの際は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 必ずアース線を接続しないと、感電、故障の原因となります。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないでください。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。

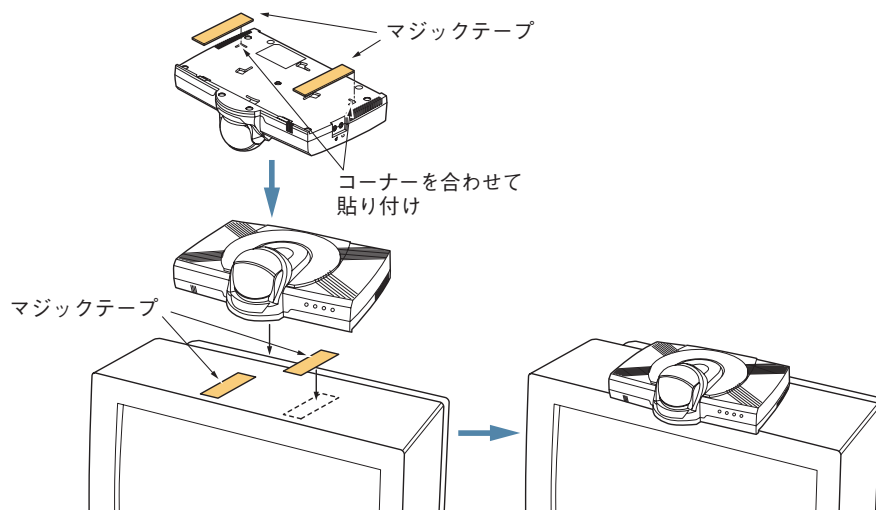
## 廃棄時のご注意

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただくか、お買い求めの販売店にご依頼ください。

## テレビの上に設置する際のご注意

落下防止のため、添付のマジックテープで固定してください。

テレビの上に置くときは、テレビ前面の上端にMediaPoint IP2本体前面下部の突起を掛けるようにしてください。



## 輸出する際のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

## 情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 目次

|                               |      |
|-------------------------------|------|
| はじめに .....                    | 2    |
| 使用上のご注意 .....                 | 2    |
| 目次 .....                      | 6    |
| 本装置の特長 .....                  | 8    |
| <br>                          |      |
| 箱の中身を確認する .....               | 1-2  |
| 設置場所 .....                    | 1-3  |
| 各部の役割 .....                   | 1-4  |
| MediaPoint IP2本体 .....        | 1-4  |
| ランプ点灯条件 .....                 | 1-5  |
| リモートコントローラ .....              | 1-6  |
| Advanced Microphone Unit..... | 1-7  |
| 外部機器等の接続 .....                | 1-8  |
| 初期設定 .....                    | 1-11 |
| <br>                          |      |
| 回線接続 .....                    | 2-2  |
| 直接ダイヤル .....                  | 2-2  |
| 短縮ダイヤル .....                  | 2-3  |
| 通信履歴 .....                    | 2-4  |
| 回線切断 .....                    | 2-5  |
| 音声設定 .....                    | 2-6  |
| 音量調節 .....                    | 2-6  |
| マイクオフ .....                   | 2-6  |
| カメラ操作 .....                   | 2-7  |
| ズーム/パン/チルト .....              | 2-7  |
| プリセット操作 .....                 | 2-7  |
| リモートカメラ .....                 | 2-7  |
| モニタ設定 .....                   | 2-8  |
| 送信画 .....                     | 2-8  |
| 受信画 .....                     | 2-8  |
| 子画面 .....                     | 2-9  |
| スナップ画 .....                   | 2-9  |
| カメラ切替 .....                   | 2-10 |
| カメラ1・カメラ2 .....               | 2-10 |
| 書画 .....                      | 2-10 |
| VTR .....                     | 2-10 |
| スナップ送信 .....                  | 2-11 |
| ステータスを確認 .....                | 2-11 |

セットアップ編

基本操作編

装置設定編

メインメニューの説明 ..... 3-2

ユーザ設定 ..... 3-4

    短縮ダイヤルの登録 ..... 3-4

    カメラプリセットの登録 ..... 3-6

環境設定 ..... 3-7

    ネットワーク設定 ..... 3-7

    詳細設定 ..... 3-13

    システム設定 ..... 3-21

    管理者設定 ..... 3-24

メンテナンス ..... 3-28

    ループバック ..... 3-28

    カメラ調整 ..... 3-29

    装置情報 ..... 3-29

多地点会議編

多地点会議 ..... 4-2

    オペレータ権を獲得する ..... 4-2

    画像の送信元を選択する (Broadcast) ..... 4-3

    自分の画像を送信する (Send) ..... 4-4

    表示する相手先を選ぶ (Receive) ..... 4-5

困ったときは

故障かな? ..... 5-2

MediaPoint IP2の情報提供 ..... 5-2

アラームメッセージ ..... 5-3

よくある質問と回答 ..... 5-5

付録

アフターサービス ..... 6-2

切断理由コード ..... 6-3

ポート番号 ..... 6-8

コネクタ情報 ..... 6-9

オプション品 ..... 6-9

出荷時設定情報 ..... 6-10

仕様 ..... 6-13

## 本装置の特長

MediaPoint IP2は、電動カメラを内蔵し(TC-2200C)、ADSL/FTTH/企業内LANなどのブロードバンドネットワークとISDNを標準装備した少人数用テレビ会議システムです。

### 専用の高性能マイクに対応

7kHz帯域高性能エコーキャンセラと話者方向自動検出機能を実装した専用マイク(Advanced Microphone Unit)を接続することで、話者方向の感度を高めるとともにエコーの発生を抑え、臨場感のある会議ができます。

### 最新動画像 CODEC を搭載

ITU-T勧告H.261およびH.263に加え、最新動画像CODECであるH.264を搭載し、低レート通信でも高画質で滑らかな画質で通信できます。

### ITU-T 勧告に準拠

ITU-T勧告に準拠しており、当社テレビ会議装置だけでなく、他社のテレビ会議装置とも接続できます。

### 2種類のネットワークに対応

IPネットワークとISDNの2種類のインタフェースを標準装備し、必要に応じて回線を選んで通信することができます。

### 電動カメラを内蔵 (TC-2200C)

電動カメラ(PAN/TILT/光学2倍・デジタル2倍ズーム)を内蔵しており、すぐに会議を始められます。

### 通信中の状態監視

帯域保証がないネットワークを使用した場合、ネットワークの混雑などにより音声途切れたり、映像がエラーすることがありますが、本装置では独自のパケットロス補償機能により、安定した通信を確保できます。

### PPPoE 対応

PPPoEプロトコルをサポートしており、ADSLモデムに直接接続して使用することができます。

### UPnP 対応

UPnP機能を標準装備していますので、WAN(インターネット)とLANの間にUPnP対応のルータが設置されている場合、UPnP機能を有効にすることで、ルータに対して自動的にポートマッピングを行い、NAT越えができます。



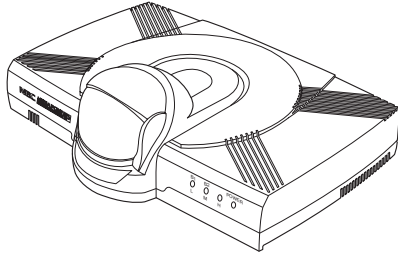


|                                |      |
|--------------------------------|------|
| 箱の中身を確認する .....                | 1-2  |
| 設置場所 .....                     | 1-3  |
| 各部の役割 .....                    | 1-4  |
| MediaPoint IP2本体 .....         | 1-4  |
| ランプ点灯条件 .....                  | 1-5  |
| リモートコントローラ .....               | 1-6  |
| Advanced Microphone Unit ..... | 1-7  |
| 外部機器等の接続 .....                 | 1-8  |
| 初期設定 .....                     | 1-11 |

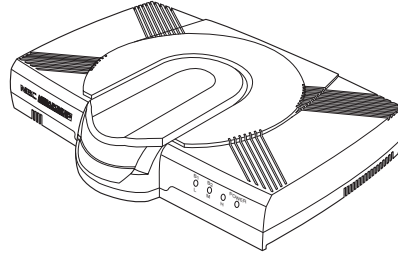
## 箱の中身を確認する

MediaPoint IP2をご使用になる前に、箱の中身を確認してください。  
お買い上げいただいた製品の種類により、MediaPoint IP2本体が異なります。

MediaPoint IP2本体

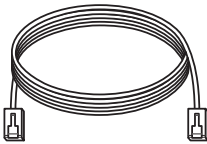


TC-2200C

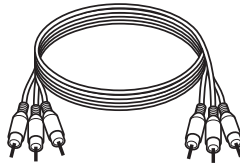


TC-2200N

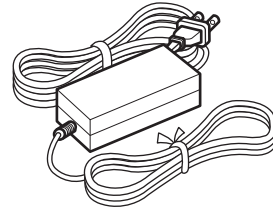
回線ケーブル  
(LAN/ISDN兼用)



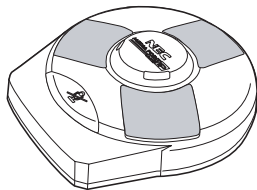
AVケーブル



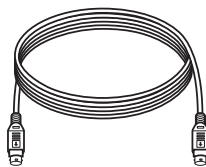
ACアダプタ  
(ACケーブル付き)



AMU



AMU接続ケーブル



専用リモートコントローラ

マジックテープ

取扱説明書(CD-ROM)

リファレンスガイド

アルカリ単三乾電池(2本)

## 設置場所

### 1. 使用する回線と機器を確認します。

MediaPoint IP2をご利用いただくには、ISDN回線またはIP通信のできる回線(企業内IPネットワーク・FTTH・ADSL・ケーブルテレビ等)が必要です。設置の前に、回線が使用できる状態になっていることを確認してください。

また、ターミナルアダプタ(TA)やADSLモデムなどの電源が入っていることを確認してください。TAやADSLモデムなどのご使用方法については、各機器の取扱説明書を参照してください。

### 2. MediaPoint IP2(カメラ)の設置場所を決めます。

見やすくきれいな画像を送るために、以下の点に注意してMediaPoint IP2(カメラ)の設置場所を決めてください。

- 背景には物を置かず、動きの少ない場所で  
背景に濃淡があったり、後ろで人が歩き回ったりすると、画像が見にくくなります。  
背景色は明るめの単色で統一すると画像が見やすくなります。
- 被写体が明るくなるように  
被写体が暗いところにいたり、逆光になったりすると画像が見にくくなります。  
ライトを当てるなど、被写体に光が当たるようにすると、きれいに映ります。

### 3. AMUの設置場所を決めます。

聞きやすい音声を送るために、以下の点に注意してAMUの設置場所を決めてください。

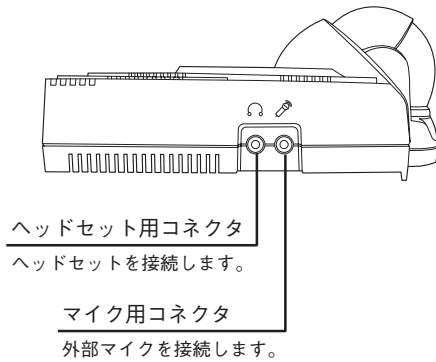
- 振動の少ない場所へ  
会議机が振動するとノイズの原因となります。  
机の端を避け、揺れにくい場所に設置してください。  
また、机やAMUを叩いたりしないようにしてください。  
エアコンなどの風が直接AMUに当たる場所は避けて設置してください。
- マイクに近づきすぎない  
AMUは、すべての方向から声を收音するための高感度マイクを3か所備えています。通常の会議のように普通にお話してください。  
マイクから口元まで、1m程度の距離でお話してください。マイクに近づきすぎると音割れやノイズの原因となります。
- スピーカーに近づけすぎない  
AMUをスピーカーに近づけすぎるとハウリングが起こることがあります。AMUとスピーカーは、なるべく離れた場所に設置してください。

## 各部の役割

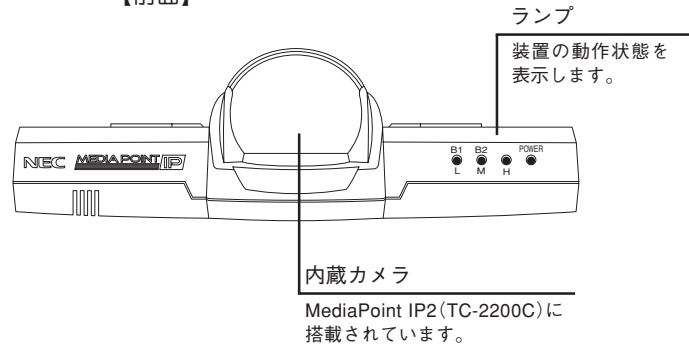
### MediaPoint IP2 本体 ▶▶▶

装置のタイプにより、外観および機能が異なります。

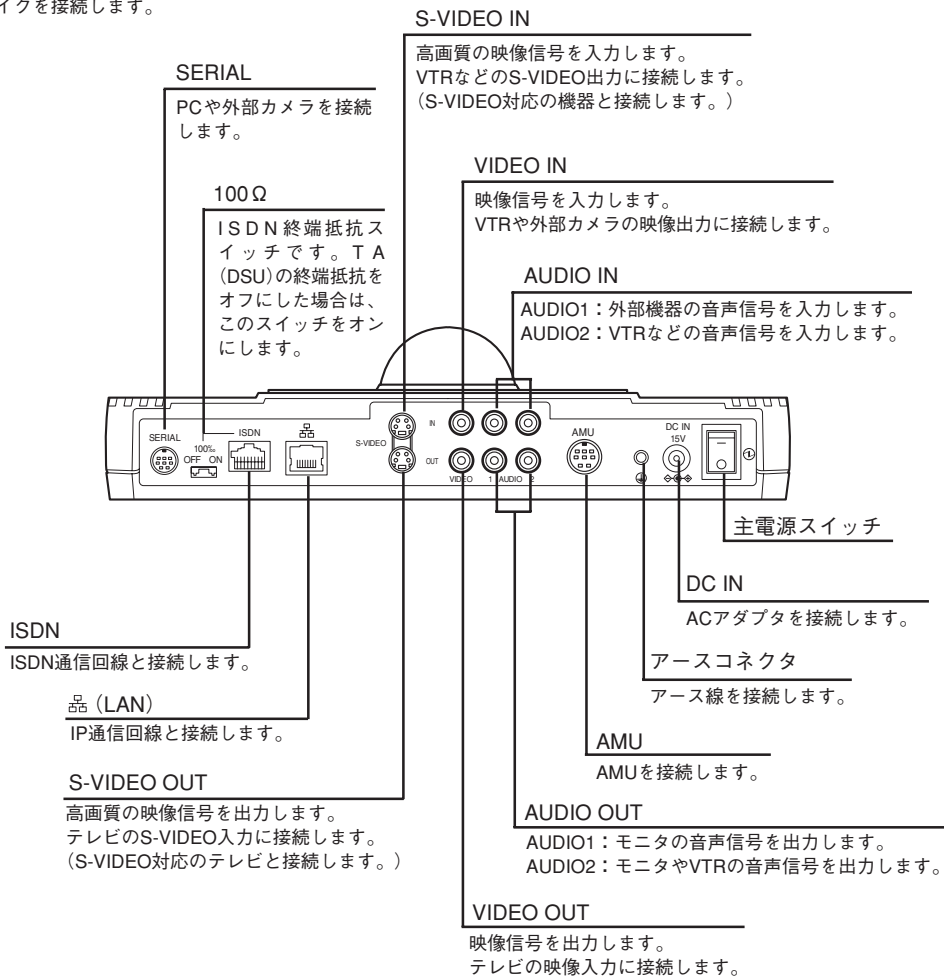
【左側面】



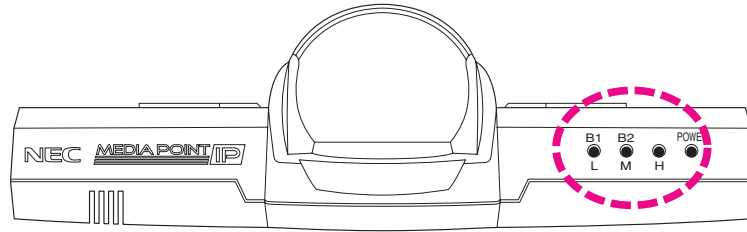
【前面】



【背面】



【ランプ表示】



ランプ点灯条件 ▶▶▶

POWERランプ

| 状態        | 点灯状況 |
|-----------|------|
| スタンバイ解除状態 | 緑色点灯 |
| スタンバイ状態   | 橙色点灯 |

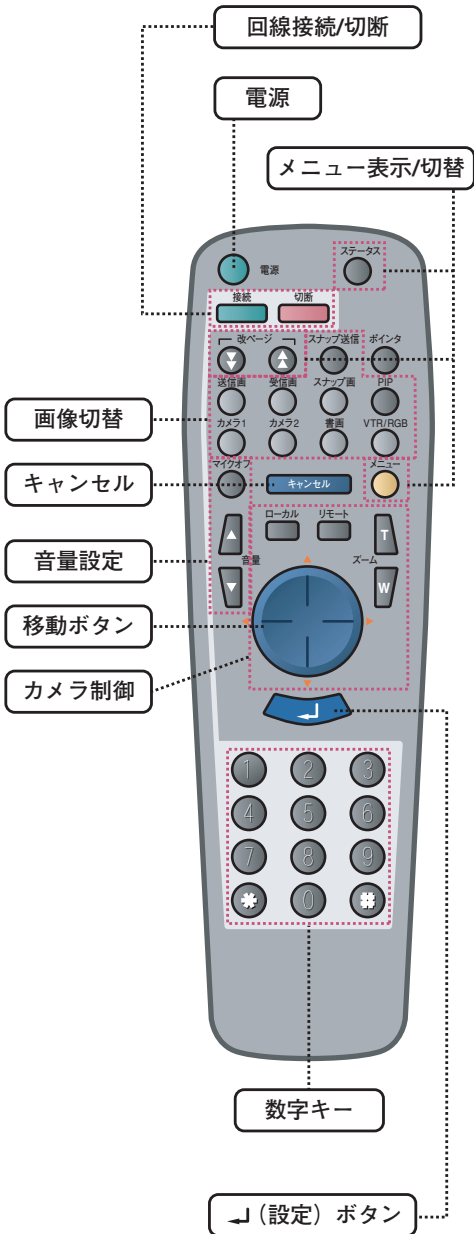
ISDN通信の場合

| 状態     | B1/L | B2/M | H    |
|--------|------|------|------|
| 1B目接続中 | 緑色点滅 | -    | -    |
| 1B目通信中 | 緑色点灯 | -    | -    |
| 2B目接続中 | 緑色点灯 | 緑色点滅 | -    |
| 2B目通信中 | 緑色点灯 | 緑色点灯 | -    |
| 着信中    | 緑色点滅 | 緑色点滅 | 緑色点滅 |

IP通信の場合

| 状態                 | B1/L | B2/M | H    |
|--------------------|------|------|------|
| 接続中                | 橙色点滅 | -    | -    |
| 64-256Kbps未満で通信中   | 橙色点灯 | -    | -    |
| 256-768Kbps未満で通信中  | -    | 橙色点灯 | -    |
| 768-1920Kbps未満で通信中 | -    | -    | 橙色点灯 |
| 着信中                | 橙色点滅 | 橙色点滅 | 橙色点滅 |

## リモートコントローラ▶▶▶



### 全 般

|                   |   |
|-------------------|---|
| 電源                | スタンバイ電源のON/OFFを行います。<br>主電源のON/OFFは、本体電源スイッチで行います。    |
| キャンセル             | メニュー表示の解除などを行います。<br>文字入力時に文字削除にも使います。                |
| ↓ (設定)            | 登録・設定中に入力した項目を確定します。                                  |
| 数字キー<br>(0~9、#、*) | 電話番号やIPアドレスの入力などを行います。<br>IPアドレスの区切り (.) は「#」で入力されます。 |

### 回線接続 / 切断

|    |                 |
|----|-----------------|
| 接続 | 回線接続メニューを表示します。 |
| 切断 | 回線を切断します。       |

### メニュー表示 / 切替

|                 |   |
|-----------------|---|
| メニュー            | メニュー画面を表示します。                                   |
| ステータス           | 通信状態を確認できます。                                    |
| 改ページ (▲/▼)      | メニュー画面や短縮ダイヤル画面など、複数の画面で構成されている画面のページの切替えを行います。 |
| 移動ボタン<br>(△▽◀▶) | 登録・設定を行うときに、設定項目を選択します。                         |

### 画像切替

|         |  |
|---------|--|
| 送信画     | 送信画像 (こちら側のカメラで映している画像) を表示します。  |
| 受信画     | 受信画像 (相手側のカメラで映している画像) を表示します。   |
| スナップ送信  | 送信画像をスナップ画 (静止画) として相手側に送信します。   |
| スナップ画   | 送信したスナップ画 (静止画) を表示します。<br>送信済のスナップ画を確認することもできます。                                |
| PIP     | PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) 表示のON/OFFを行います。<br>テレビの画面に子画面を表示し、受信画像を見ながら子画面で送信画像を確認できます。 |
| カメラ1    | カメラ1の画像を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、内蔵カメラに設定されています。<br>(カメラ内蔵モデルのみ)                  |
| カメラ2    | カメラ2の画像を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、外部ビデオに設定されています。                                  |
| 書画      | 書画 (資料を写しているカメラやVTRの画像) を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、S-VIDEOに設定されています。               |
| VTR/RGB | VTR (ビデオ・テープ・レコーダー) の画像を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、S-VIDEOに設定されています。                |

### カメラ制御

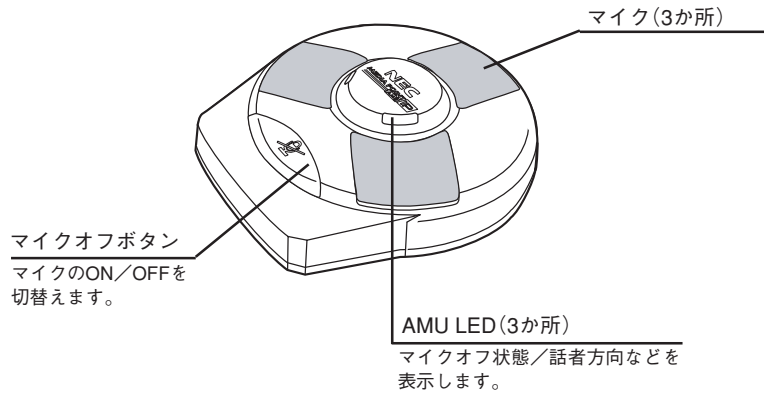
|            |   |
|------------|---|
| ローカル       | こちら側のカメラを操作するときに押します。   |
| リモート       | 相手側のカメラを操作するときに押します。  |
| ズーム (T/W)  | カメラのズーム操作を行います。<br>「T」を押すと被写体が大きくなります。<br>「W」を押すと被写体が小さくなります。 |
| 移動ボタン (◀▶) | カメラのパン (左右動作) 操作を行います。  |
| 移動ボタン (△▽) | カメラのチルト (上下動作) 操作を行います。                                       |

### 音量設定

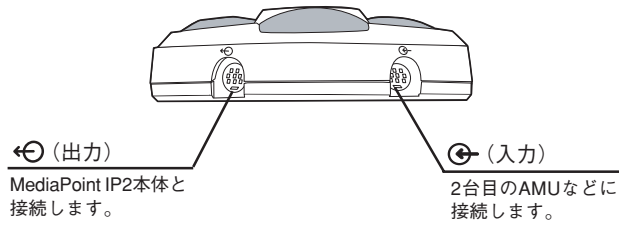
|       |   |
|-------|---|
| マイクオフ | 相手にこちらの声を聞かれないときに、一時的にマイクをOFFにします。<br>もう一度押すと、マイクがONになります。    |
| 音量▲/▼ | スピーカから聞こえる音量を調節します。<br>「▲」を押すと音が大きくなります。<br>「▼」を押すと音が小さくなります。 |

## AMU (Advanced Microphone Unit) ▶▶▶

### 【本体】



### 【背面】



### 【ランプ点灯条件】

| 表示色     | 状態  |
|---------|---|
| 赤色 (点灯) | マイクオフ状態を示します。                                 |
| 緑色 (点滅) | マイクオン状態を示します。<br>緑色点滅時は話者方向を検出してクリアな音声を収録します。 |
| 橙色 (点灯) | AMU接続ケーブルが誤って接続されている可能性があります。*1               |

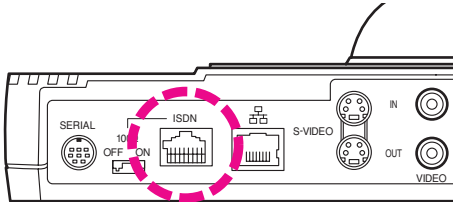
\*1 ケーブルの接続をお確かめのうえ、症状が変わらない場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。

## 外部機器等の接続

1～3の手順で回線ケーブル、電源、周辺機器などの接続を行います。

### 1 回線ケーブルをつなぎます。

**ISDN** ISDN通信回線を使用する場合



① 「ISDN」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

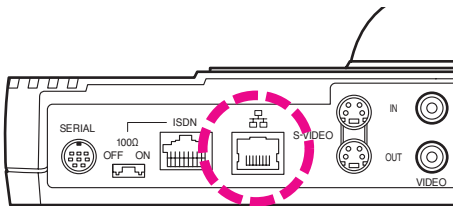
② 反対側をTA(DSU)の「S/T」に差し込みます。

「S/T」は、接続する機器により「ISDN接続ポート」、「S/Tラインコネクタ」、「ISDN S/T点」等と表示されていることがあります。

▽終端抵抗スイッチ(100Ω)

TA(DSU)の終端抵抗をオフにした場合は、MediaPoint IP2の終端抵抗スイッチをオンにしてください。

**IP** IP通信回線を使用する場合



① 「LAN」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

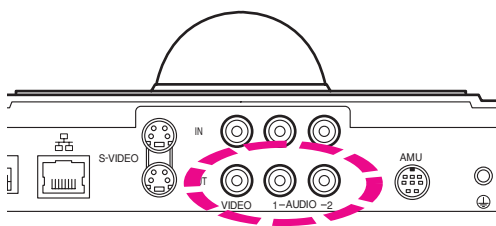
② 反対側をADSLモデム、ケーブルモデム等の「LAN」に差し込みます。

「LAN」は、接続する機器により「Ether」、「イーサポート」、「LANポート」等と表示されていることがあります。

※「SERIAL」はPCや外部カメラを接続するときに使用します。



## 2 AVケーブルをつなぎます。



- ① 「OUT」側の「VIDEO」、「AUDIO1・2」にAVケーブルを差し込みます。
- ② 「VIDEO」に差し込んだ反対側をテレビ外部入力の「VIDEO」に差し込みます。
- ③ 「AUDIO1・2」に差し込んだ反対側をスピーカーに差し込みます。

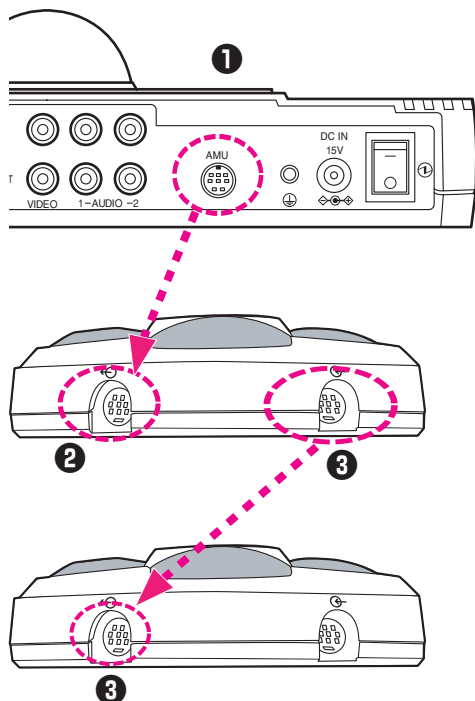
「S-VIDEO」を使用すると、より高画質な映像を表示することができます。

接続するテレビに「S-VIDEO」が付いている必要があります。S-VIDEOケーブルは別にお買い求めください。

テレビの「VIDEO」および「S-VIDEO」は、テレビにより「外部入力」、「VIDEOIN」、「ビデオ入力」、「映像入力」等と表示されていることがあります。

- 映像を表示するには、テレビ側のケーブルを差し込んだ端子とテレビのチャンネルまたは入力切替を合わせる必要があります。  
例：「ビデオ2-映像」につないだ場合はテレビの入力切替を「ビデオ2」に合わせます。
- VTRなどを接続する場合は、「カメラ切替」(2-10ページ)を参照してください。

## 3 AMUをつなぎます。

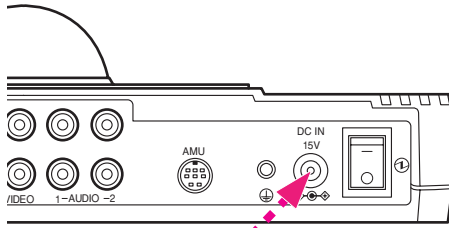


- ① 本体背面の「AMU」にAMU接続ケーブルを差し込みます。
- ② 反対側をAMUの「←」に差し込みます。
- ③ AMUを増設する場合は、AMU接続ケーブルを「→」に差し込みます。\*

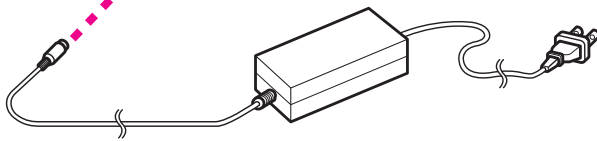
AMU接続ケーブルの反対側を増設したAMUの「←」に差し込みます (AMUは最大で4台まで設置することができます)。

\* AMUを増設した場合は、別途AMU接続ケーブル(オプション品)を購入してください。

#### 4 ACアダプタをつなぎます。

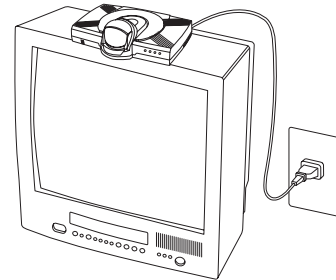
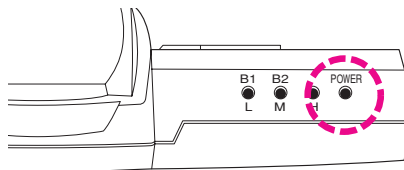
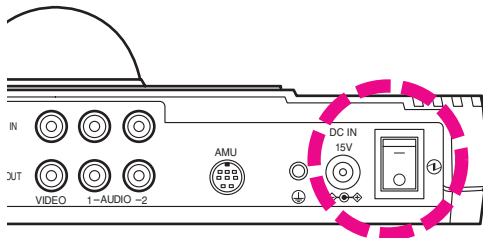


- ① ACアダプタケーブルをACアダプタに差し込みます。
- ② 本体背面の「DC IN」にACアダプタを差し込みます。
- ③ ACアダプタケーブルをコンセントに差し込みます。



#### 5 電源を入れて接続を確認します。

主電源スイッチをオンにすると前面のPOWERランプが緑色に点灯し、本体スピーカーから起動音が鳴ります。テレビの電源を入れ、AVケーブルを接続した端子にチャンネルまたは入力切替を合わせると、初期設定画面が表示されます。



画面に何も映らない場合は次のことを確認してください。

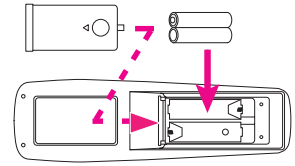
- テレビのチャンネルまたは入力切替が合っているか。
- AVケーブルの接続がゆるくなっていないか。
- 接続が間違っていないか。

## 初期設定

本装置をご利用になる前に必要な設定を行います。

初期設定を行う前に、回線ケーブルや電源ケーブル等の接続を行ってください（「外部機器の接続」1-8ページ参照）。

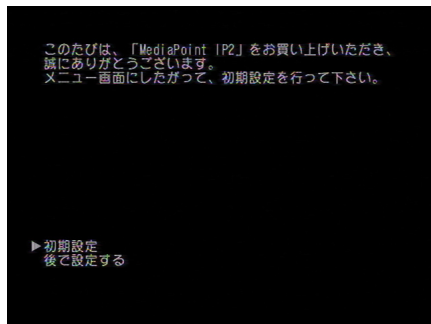
MediaPoint IP2の操作は、リモコンで行います。設定を行う前にリモコンに電池が入っていることを確認してください。



初期設定画面は、お買い上げいただいた後、最初の1回のみ表示されます。1度設定すると以降は表示されませんので、変更する場合は「メニュー画面」→「環境設定」→「ネットワーク設定」(3-7ページ)および、「環境設定」→「システム設定」(3-21ページ)で変更してください。

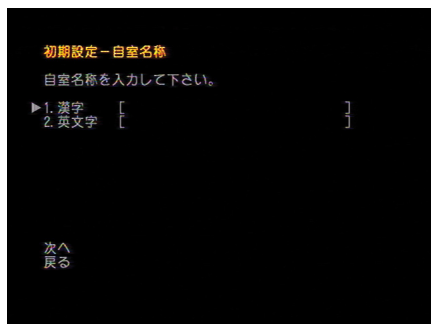
※ 各項目の初期値は「出荷時設定情報」→「設定項目の初期値」(6-10ページ)を参照してください。

### 1 主電源スイッチをオンにします。

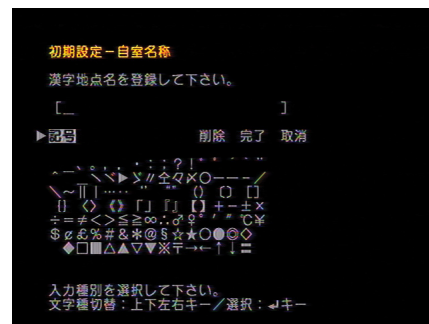


- 1 セットアップ画面表示後、左の画面が表示されたら、「初期設定」を選び、を押します。

### 2 自室名称を入力します。



- 1 漢字・英文字を選び、を押します。



- 2 入力する文字の種類を△▽◀▶で選び、を押します。

- 3 △▽◀▶で文字を選び、で入力します。

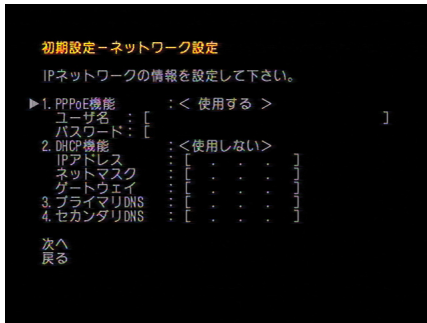
- 4 すべての文字を入力したら、カーソルを「完了」に合わせてを押します。

修正するときはカーソルを「削除」に合わせてを押し、修正する文字を削除してから入れ直します。

- 5 カーソルを「次へ」に合わせてを押します。

### 3 IP ネットワークを設定します。

|                   |  |
|-------------------|--|
| DHCP機能使用          | DHCP機能を使用しない場合は「使用しない」を選びます。「使用しない」を選んだ場合は「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を入力します。      |
| プライマリDNS・セカンダリDNS | DNSサーバを使用している場合はDNSサーバのアドレスを入力します。   |
| PPPoE使用           | ご利用になるインターネットプロバイダがPPPoEを使用する場合は、「使用する」を選びます。「使用する」を選んだ場合は、「ユーザ名」、「パスワード」を入力します。 |



- 1 「PPPoE」を選び、「使用する」または「使用しない」を設定します。

「使用する」を選んだ場合は「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

- 2 「DHCP機能」を選び、「使用する」または「使用しない」を設定します。

「使用しない」を選んだ場合は「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を入力します。

- 3 必要に応じ、プライマリDNSとセカンダリDNSを選び、DNSサーバのアドレスを入力します。

- 4 カーソルを「次へ」に合わせて  を押します。

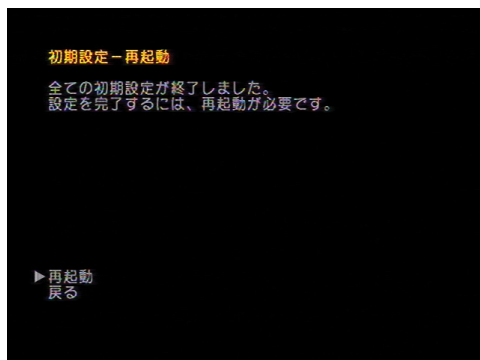
#### アドバイス

フレッツADSL、BフレッツのADSLモデム、回線終端装置に直接接続する場合は、PPPoEを「使用する」に設定してください。

ブロードバンドルータが接続される場合は、PPPoEを「使用しない」に設定して、DHCP機能を「使用する」に設定してください。

企業内IPネットワークで、IPアドレスが決まっている場合は、PPPoEを「使用しない」、DHCP機能を「使用しない」に設定して、「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNS」を設定してください。

### 4 初期設定を完了します。



- 1 再起動を選び、  を押します。



基本操作編

|                  |      |
|------------------|------|
| 回線接続 .....       | 2-2  |
| 直接ダイヤル .....     | 2-2  |
| 短縮ダイヤル .....     | 2-3  |
| 通信履歴 .....       | 2-4  |
| 回線切断 .....       | 2-5  |
| 音声設定 .....       | 2-6  |
| 音量調節 .....       | 2-6  |
| マイクオフ .....      | 2-6  |
| カメラ操作 .....      | 2-7  |
| ズーム／パン／チルト ..... | 2-7  |
| プリセット操作 .....    | 2-7  |
| リモートカメラ .....    | 2-7  |
| モニタ設定 .....      | 2-8  |
| 送信画 .....        | 2-8  |
| 受信画 .....        | 2-8  |
| 子画面 .....        | 2-9  |
| スナップ画 .....      | 2-9  |
| カメラ切替 .....      | 2-10 |
| カメラ1・カメラ2 .....  | 2-10 |
| 書画 .....         | 2-10 |
| VTR .....        | 2-10 |
| スナップ送信 .....     | 2-11 |
| ステータスを確認 .....   | 2-11 |

## 回線接続



[接続]ボタンを押し、「回線接続メニュー」を表示します(装置起動時は最初に「回線接続メニュー」が表示されます)。

ISDN番号およびIPアドレスを設定または取得した場合は、自室ISDN番号、自室IPアドレスG(グローバル)、自室IPアドレスP(プライベート)が表示されません。

## 直接ダイヤル▶▶▶

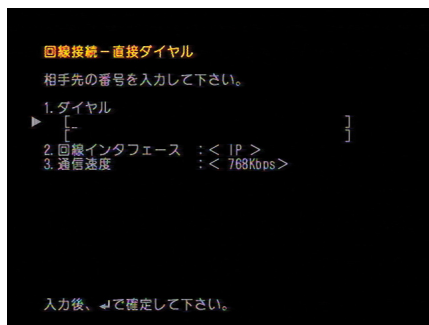
相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを直接入力して相手先を呼び出します。

「環境設定」-「詳細設定」-「通信関連設定」-「発信禁止条件」が「直接ダイヤル禁止」または「短縮ダイヤルのみ可」に設定されている場合は、「直接ダイヤル」を選択できません。

### 1 「直接ダイヤル」を選択します。

① 「Manual Dial」アイコン(直接ダイヤル)を選び、を押します。

### 2 相手先の番号を入力します。



相手先の電話番号またはIPアドレスを入力し、通信速度を設定します。

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| ダイヤル      | 相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを入力します。 |
| 回線インタフェース | ISDNかIPの選択をします。              |
| 通信速度      | ご利用の回線に合わせ、通信速度を設定します。       |

#### ① カーソルを「ダイヤル」に合わせ、数字キーで相手先の電話番号またはIPアドレスを入力します。

ISDN通信の場合は、相手先の電話番号を入力します。

IP通信の場合は、相手先のIPアドレスを入力します。

ゲートキーパを使用する場合は、相手先のIP電話番号(エイリアス)を入力してください。

IPアドレスの区切り( )を入力するときは、[#]を押します。

修正するときは修正する文字を[キャンセル]ボタンで削除してから入れ直します。

サブアドレスは、同じISDN通信回線に複数の通信機器を接続している場合などに使用します。入力する場合にはダイヤル番号の後に"\*"を入力してからサブアドレスを入力します。

② 回線インターフェースを選び、通信する回線によって「ISDN」、「IP」を設定します。

③ 「通信速度」を選び、通信速度を設定します。

ISDNの場合：一般の電話と接続する場合は、「TEL」を選択します。

IPの場合：通信速度は「環境設定」-「ネットワーク設定」で設定した範囲で選択できます（「最大通信速度」3-10ページ参照）。

### 3 回線に接続します。

① 相手先の電話番号またはIPアドレスを確認し、を押します。

[接続]ボタンを押した場合も回線に接続します。

相手先とつながらない場合は、切断理由コードを参照してください（「切断理由コード」6-3ページ）。


### 4 回線がつながると、相手先の画像が映ります。

## 短縮ダイヤル▶▶▶

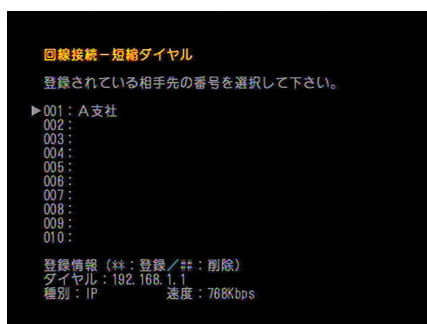
よく使う番号を短縮ダイヤルに登録しておくことで、簡単な操作で相手先と接続できます。

あらかじめ相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを登録しておきます（「短縮ダイヤル登録」3-4ページ参照）。

### 1 「短縮ダイヤル」を選択します。

① 「Speed Dial」アイコン（短縮ダイヤル）を選び、を押します。

### 2 相手先を選択し、回線に接続します。



① 相手先の短縮番号を選び、を押します。

[移動]ボタンまたは[改ページ]ボタンで相手先を検索します。

未登録の番号を選び[\*]を2回押すと、新たに短縮ダイヤルを登録できます。

相手先とつながらない場合は、切断理由コードを参照してください（「切断理由コード」6-3ページ）。

### 3 回線がつながると、相手先の画像が映ります。

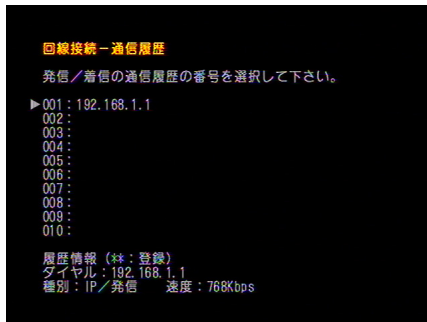
## 通信履歴 ▶▶▶

前に接続した相手先と簡単な操作で接続できます。

### 1 「通信履歴」を選択します。

① 「History」アイコン(通信履歴)を選び、を押します。

### 2 相手先を選択し、回線に接続します。



① 相手先を選び、を押します。

[移動]ボタンまたは[改ページ]ボタンで相手先を検索します。

選択されている通信履歴の地点名、電話番号、通信速度などの詳細情報が表示されます。

MediaPoint IP2同士の通信で相手先が自室名称を登録している場合は、相手先地点名が表示されます。

相手先とつながらない場合は、切断理由コードを参照してください(「切断理由コード」J6-3ページ)。

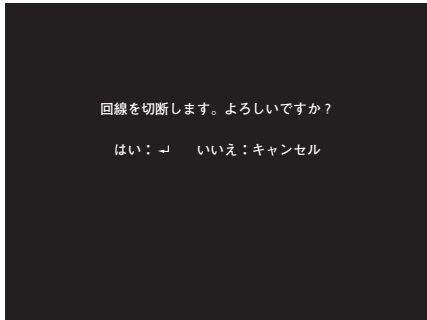
### 3 回線がつながると、相手先の画像が映ります。



## 回線切断

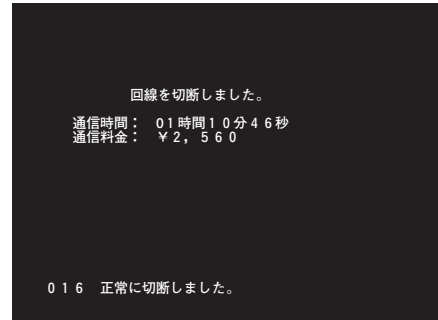
会議が終わったら、回線を切断します。

### 1 回線を切断します。



① 切断ボタンを押し、「回線切断」画面を表示します。

②  を押します。



③ 回線を切断しました。

通信料金はINS64の場合にのみ表示されます。

[キャンセル]ボタンを押すと、「回線接続メニュー」が表示されます。

## 音声設定

### 音量調節 ▶▶▶

スピーカーから聞こえる音量を調節します。

**[音量] ボタンを押し、受信音量を調節します。**

- [△]ボタンを押すと音が大きくなります。
- [▽]ボタンを押すと音が小さくなります。

### マイクオフ ▶▶▶

相手にこちらの声を聞かれないときに、一時的に自室のマイクをオフにします。

**[マイクオフ] ボタンを押し、マイクをオフにします。**

- [マイクオフ]ボタンを押すとマイクがオフになります。
- もう一度[マイクオフ]ボタンを押すとマイクがオンになります。

## カメラ操作

### ズーム/パン/チルト▶▶▶

カメラの画像の大きさや、カメラの角度を操作します。

**[T]、[W] ボタン、[移動] ボタンを押し、カメラを操作します。**

- [T]ボタンを押すと被写体が大きくなります。
- [W]ボタンを押すと被写体が小さくなります。
- [◀]、[▶]ボタンを押すとカメラのパン(左右動作)を行います。
- [△]、[▽]ボタンを押すとカメラのチルト(上下動作)を行います。  
テレビに「リモート」と表示されているときは、[ローカル]ボタンを押してから操作してください。

### プリセット操作▶▶▶

プリセット登録してある方向にカメラの向きが移動します(「カメラプリセット登録」3-6ページ参照)。

**数字キーを押し、プリセット登録された方向にカメラの向きを動かします。**

数字キー[1]から[9]を押すと、カメラプリセット番号に登録してある方向にカメラの向きが移動します。

### リモートカメラ▶▶▶

相手側のカメラを操作します。  
通信する相手装置により、リモート操作できないことがあります。

**[リモート] ボタンを押して、相手側のカメラを操作します。**

[リモート]ボタンを押してから以下のリモコンのボタンを押すと、相手側のカメラを操作できます。

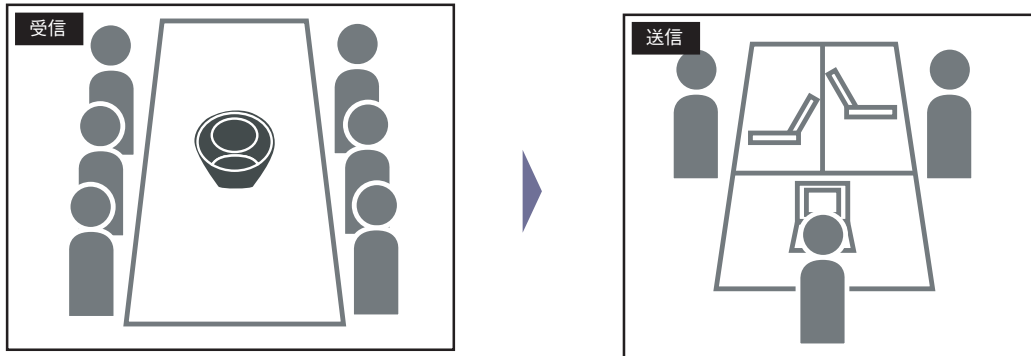
- [スナップ送信]ボタン
- [カメラ1]、[カメラ2]、[書画]ボタン
- [VTR/RGB]ボタン
- [T]、[W]ボタン(ズーム)
- [◀]、[▶]ボタン(パン)
- [△]、[▽]ボタン(チルト)
- 数字キー(リモートプリセット)

## モニタ設定

### 送信画 ▶▶▶

こちら側から送っている画像(送信画)を確認できます。

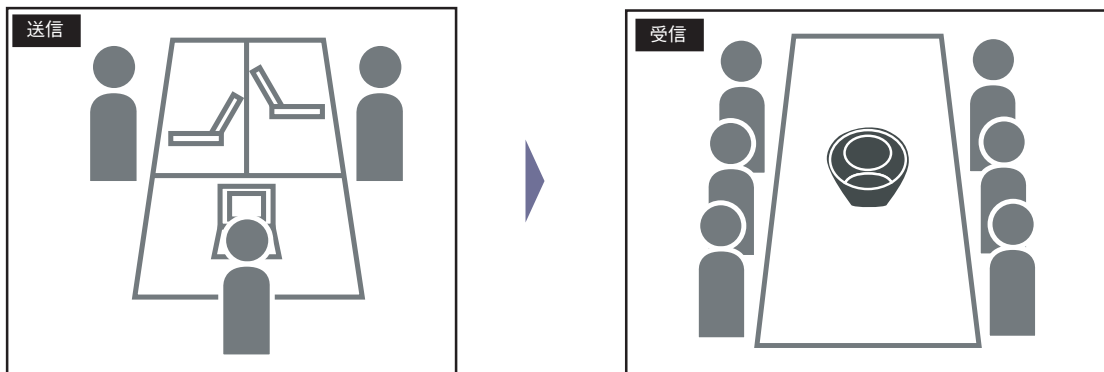
**【送信画】 ボタンを押し、送信画（こちら側の画像）を表示します。**



### 受信画 ▶▶▶

送信画やスナップ画の表示中に、もう一度もとの画像(相手側の画像)を表示します。

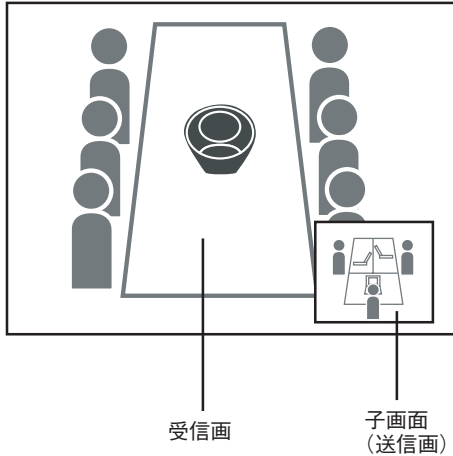
**【受信画】 ボタンを押し、受信画（相手側の画像）を表示します。**



## 子画面 ▶▶▶

テレビの画面に子画面を表示し、受信画像を見ながら子画面で送信画像を確認できます。

### [PIP] ボタンを押し、子画面を表示します。



[PIP]ボタンを押すと子画面を表示します。  
もう一度[PIP]ボタンを押すと子画面が消えます。

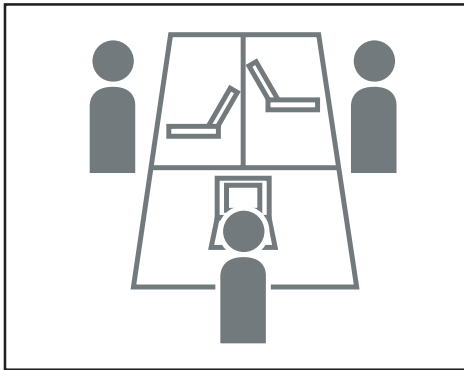
「画面表示設定」-「PIP表示位置」を「PIPキー」に設定している場合は、[PIP]ボタンを押すごとに子画面の表示位置が切り替わります。

「PIP表示位置」の設定が「右下」、「左下」、「左上」、「右上」に設定されている場合は、[PIP]ボタンを押すごとに子画面の表示をON/OFFします(「表示設定」3-23ページ)。

## スナップ画 ▶▶▶

受信または送信したスナップ画を表示します。受信または送信済みのスナップ画を確認することができます。

### [スナップ画] ボタンを押し、最後に受信または送信した静止画を表示します。



## カメラ切替

設定の詳細は「環境設定」-「詳細設定」-「ビデオ関連」(3-13ページ)を参照してください。

### カメラ 1・カメラ 2▶▶▶

相手側に送信する画像を切り替えます。

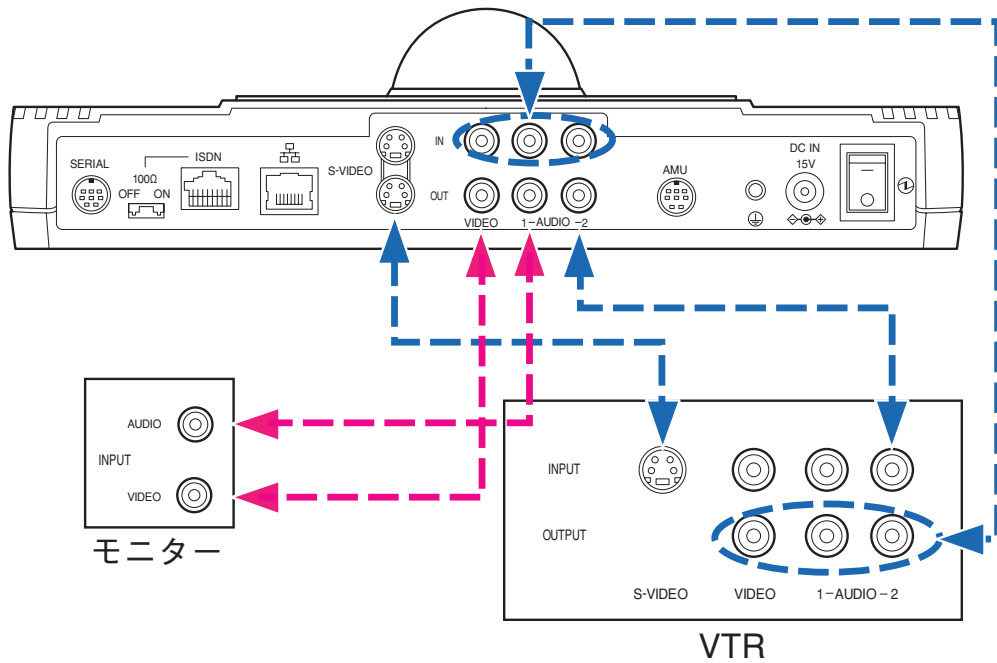
|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| カメラ1 | [カメラ1] ボタンを押すと、「カメラ1」に設定した画像を送信します。 |
| カメラ2 | [カメラ2] ボタンを押すと、「カメラ2」に設定した画像を送信します。 |

### VTR▶▶▶

VTR(ビデオ・テープ・レコーダー)などを接続し、VTRの映像を送信できます。

[VTR/RGB]ボタンを押すと、「環境設定」-「詳細設定」-「ビデオ関連」-「ビデオ入力選択」で「VTR」に設定した画像を送信します。

VTRとの接続例を以下に示します。



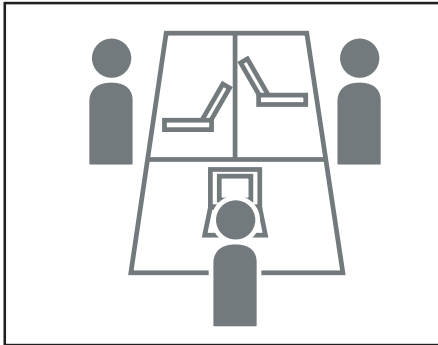
### 書画▶▶▶

[書画]ボタンを押すと、「ビデオ入力選択」で「書画」に設定した画像を送信します。

## スナップ送信

通信中に送信画像をスナップ画(静止画)として相手側に送信します。

**【スナップ送信】 ボタンを押し、スナップ画を送信します。**

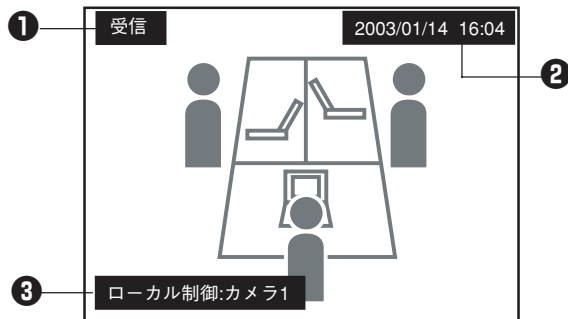


相手側では受信したスナップ画が自動的に表示されます。

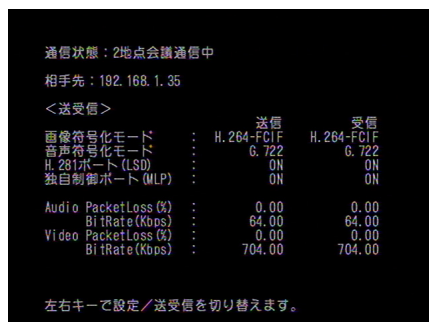
## ステータスを確認

通信中に通信速度や音声モードを確認できます。

**【ステータス】 ボタンを押し、ステータスを表示します。**



- ① 表示中の画像名称を表示します。
- ② 時刻を表示します。
- ③ 制御状態および、送信カメラを表示します。



- ④ [ステータス]ボタンをもう一度押すと、「通信状態」を表示します。

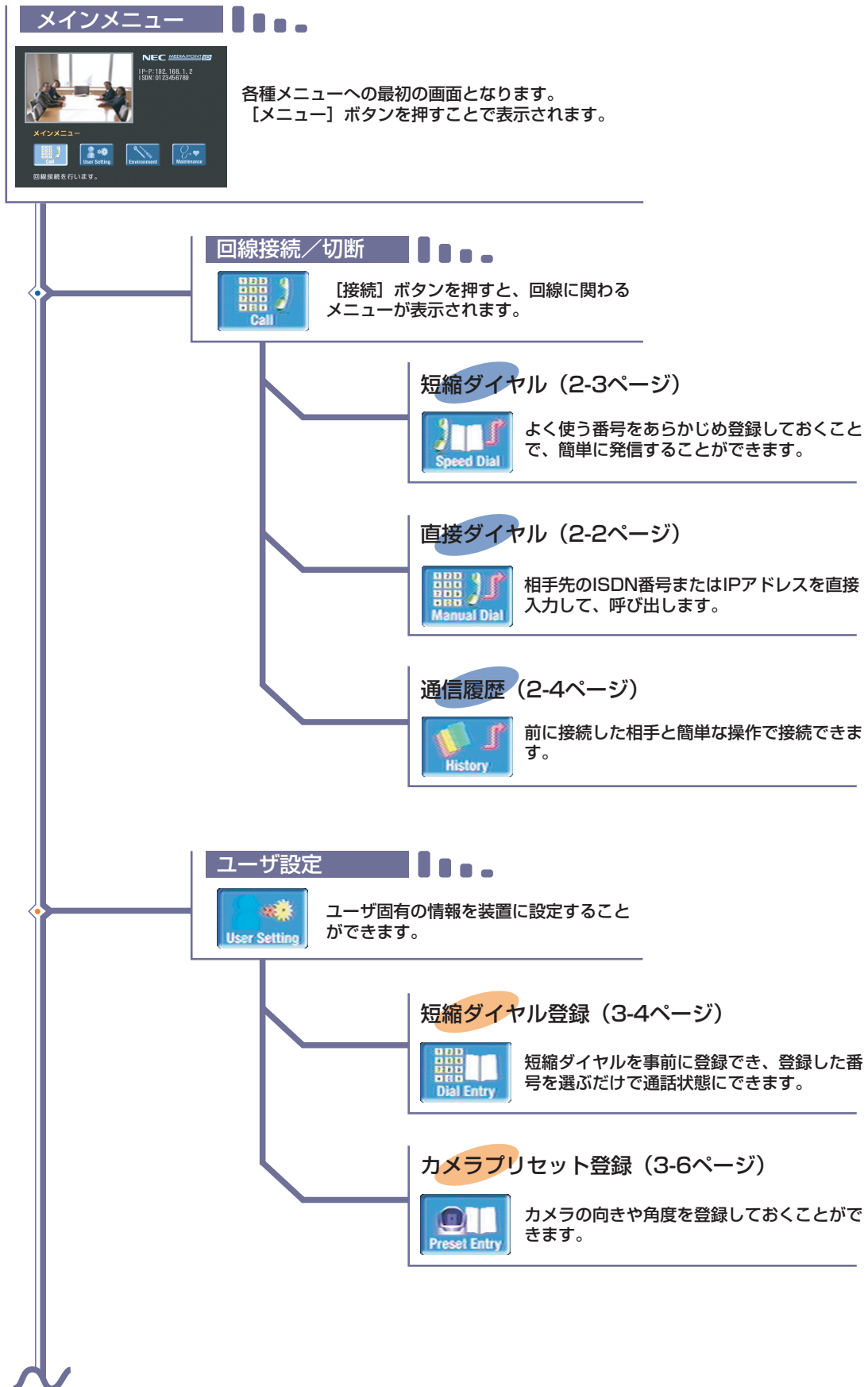


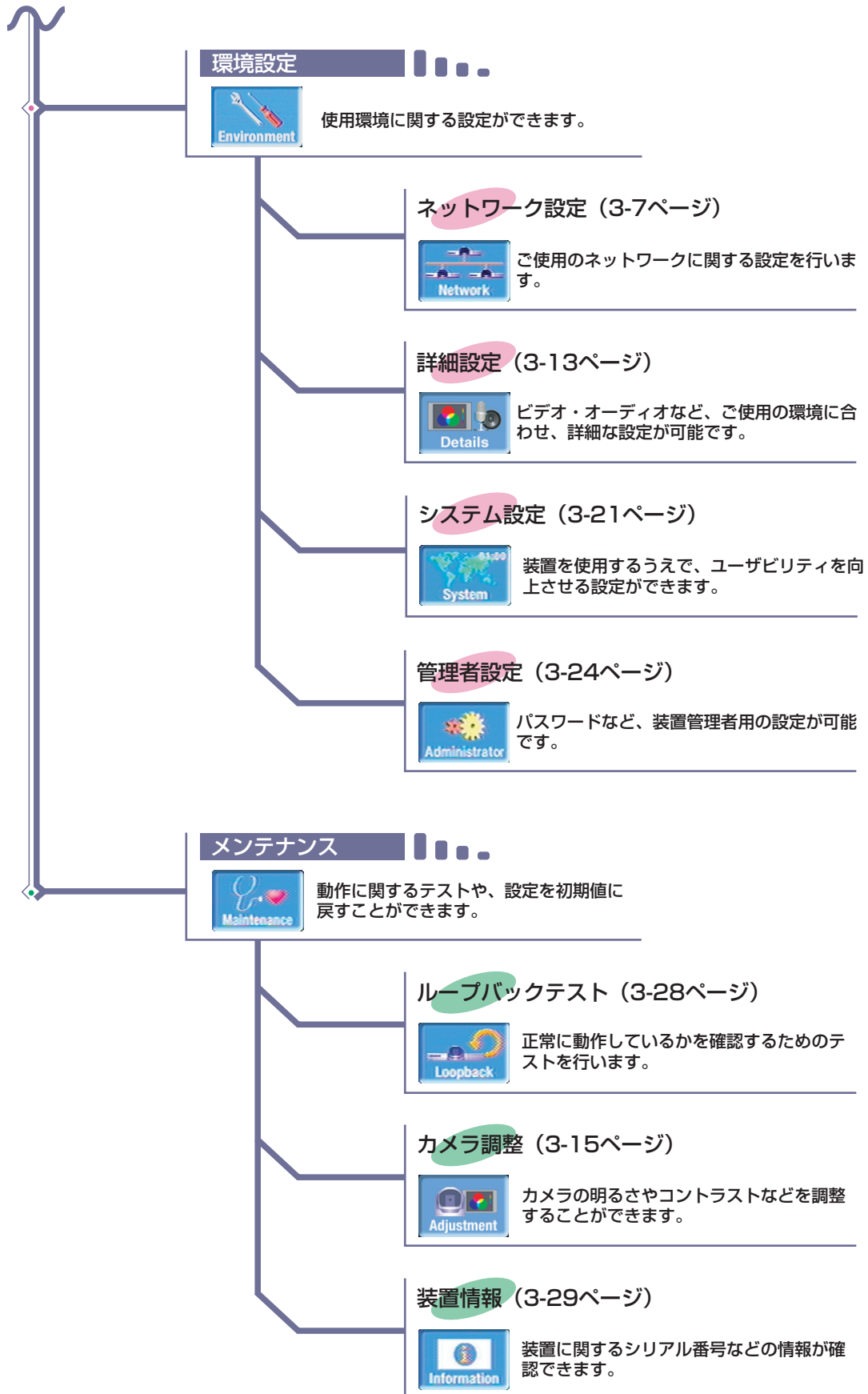




|                   |      |
|-------------------|------|
| メインメニューの説明 .....  | 3-2  |
| ユーザ設定 .....       | 3-4  |
| 短縮ダイヤルの登録 .....   | 3-4  |
| カメラプリセットの登録 ..... | 3-6  |
| 環境設定 .....        | 3-7  |
| ネットワーク設定 .....    | 3-7  |
| 詳細設定 .....        | 3-13 |
| システム設定 .....      | 3-21 |
| 管理者設定 .....       | 3-24 |
| メンテナンス .....      | 3-28 |
| ループバック .....      | 3-28 |
| カメラ調整 .....       | 3-29 |
| 装置情報 .....        | 3-29 |

# メインメニューの説明





## ユーザ設定



「メインメニュー」の「ユーザ設定」で設定できる機能を説明します。

「ユーザ設定」は以下の2つのメニューで構成されています。

|            |  |
|------------|--|
| 短縮ダイヤル登録   | 短縮ダイヤルの登録をします。   |
| カメラプリセット登録 | カメラプリセットの登録をします。こちら側のカメラの向きや角度を設定します。また、外部カメラが接続されている場合は、「カメラ1」と「カメラ2」を切り替えて登録することができます。 |

## 短縮ダイヤルの登録 ▶▶▶

短縮ダイヤルに相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを登録しておく、簡単な操作で発信することができます。

短縮ダイヤルは、最大100件まで登録できます。

「環境設定」-「詳細設定」-「通信関連」-「短縮ダイヤル登録」が「禁止」に設定されている場合は、短縮ダイヤルを登録できません(「通信関連」3-17ページ参照)。


短縮ダイヤル登録は、「短縮ダイヤル番号選択」画面で、未登録の番号を選び[\*]を2回押して、手順以降の操作を行うことでできます(「短縮ダイヤル」2-3ページ参照)。

**1** 「メニュー」ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。

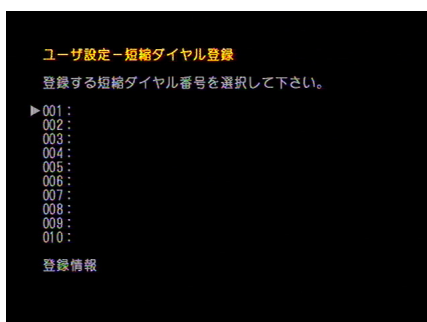
**2** 「ユーザ設定」アイコンを選択します。


① 「User Setting」アイコン(ユーザ設定)を選び、を押します。

**3** 「短縮ダイヤル登録」アイコンを選択します。

① 「Dial Entry」アイコン(短縮ダイヤル登録)を選び、を押します。

**4** 短縮ダイヤル番号を選択します。



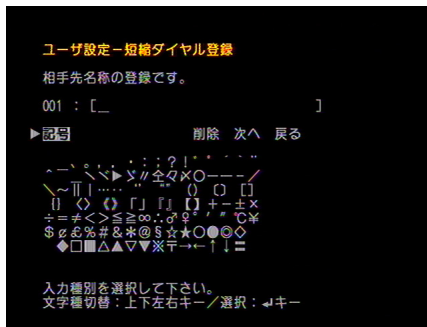
① 登録する短縮ダイヤル番号を選び、を押します。



[移動]ボタンまたは[改ページ]ボタンで登録する短縮ダイヤル番号を選びます。



[改ページ]ボタンを押すと、短縮ダイヤル番号が10件ずつ切り替わります。

必要な短縮ダイヤルの登録が完了している場合は[キャンセル]ボタンを押して「メインメニュー」に戻ります。

## 5 相手先の名前を入力します。

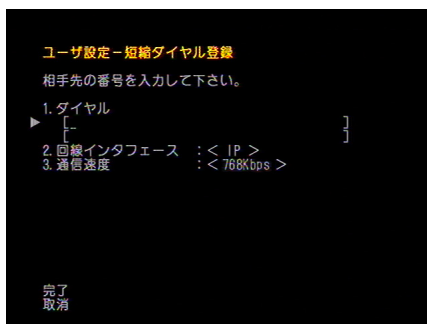



- ① [移動]ボタンで文字種を選びます。
- ② 表示されている文字リストの中から入力する文字を選び、を押します。
- ③ すべての文字を入力したら「完了」を選び、を押します。

修正するときはカーソルを「削除」に合わせてを押し、修正する文字を削除してから入れ直します。「戻る」を選びを押すと、「短縮ダイヤル番号登録」画面に戻ります。

相手先がMediaPoint IP2で、相手先の自室名称が登録されている場合は、ここで相手先の名前を登録せずに手順で相手先の電話番号またはIPアドレスを登録すると、その相手先へ短縮ダイヤルで発信したときに相手先地点名を自動的に登録することができます。

## 6 相手先の電話番号または IP アドレス、通信速度を入力します。



- ① 数字キーで相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを入力します。  
ISDN通信の場合は、相手先の電話番号を入力します。IP通信の場合は、相手先のIPアドレスを入力します。IPアドレスの区切り( )を入力するときは、[#]を押します。  
ゲートキーバを使用する場合は、相手先のIP電話番号(エイリアス)を入力してください。  
修正するときは修正する文字を[キャンセル]ボタンで削除してから入れ直します。
- ② 「回線インターフェース」を選び、「ISDN」または「IP」を設定します。
- ③ 「通信速度」を選び、通信速度を設定します。  
ISDNの場合：一般の電話と接続する場合は、「TEL」を選択します。  
IPの場合：通信速度は「環境設定」-「ネットワーク設定」「最大通信速度」で設定した範囲で選択できます（「最大通信速度」(3-10ページ)参照）。
- ④ 「完了」を選び、を押します。

## 7 短縮ダイヤルの登録が完了しました。

- ① 登録が完了すると手順「3」 「短縮ダイヤル登録」アイコンを選択します。」に戻ります。

## カメラプリセットの登録 ▶▶▶


あらかじめプリセット登録しておくことで、数字キーを押したときにその方向にカメラの向きが移動します。カメラプリセットは最大9個まで設定できます（「プリセット操作」2-7ページ参照）。

**1** 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」 を表示します。

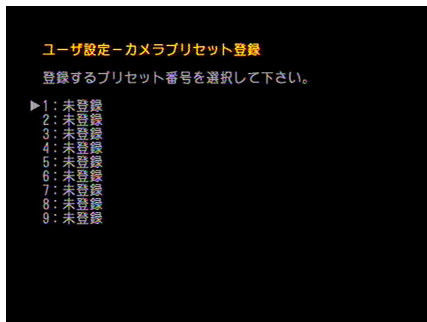
**2** 「ユーザ設定」 アイコンを選択します。


① 「User Setting」アイコン(ユーザ設定)を選び、を押します。

**3** 「カメラプリセット登録」 アイコンを選択します。

① 「Preset Entry」アイコン(カメラプリセット登録)を選び、を押します。

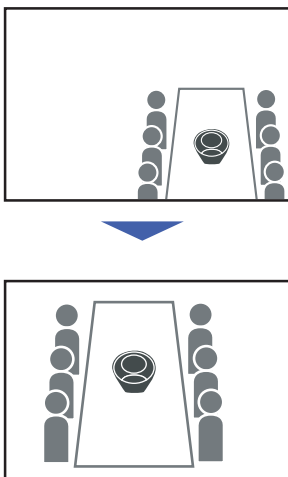
**4** カメラプリセット番号を選択します。



① 登録するカメラプリセット番号を選び、を押します。

登録済みの番号を選ぶと、登録情報を変更できます。必要なカメラプリセット登録が完了している場合は[キャンセル]ボタンを押して「メインメニュー」に戻ります。

**5** 「プリセット位置」 を設定します。



① テレビの画面を見ながら[T]、[W]、[移動]ボタンでカメラの向きや角度を決めます。

外部カメラが接続されている場合は、「カメラ1」と「カメラ2」を切り替えて登録することができます。

② を押します。

**6** カメラプリセット登録が完了しました。

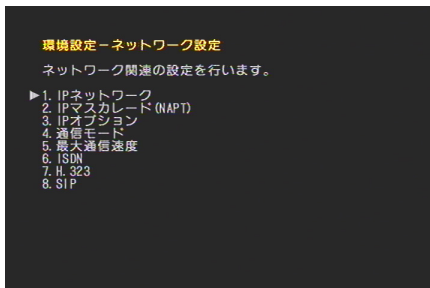
① 登録が完了すると手順「4 カメラプリセット番号を選択します。」に戻ります。

## 環境設定



「メインメニュー」の「環境設定」で設定できる機能を説明します。

## ネットワーク設定 ▶▶▶



ネットワーク関連の設定を行います。

|                 |   |
|-----------------|---|
| IPネットワーク        | IPネットワーク設定を行います。設定後、装置が再起動されます。               |
| IPマスカレード (NAPT) | UPnPやエコサーバに関する設定を行います。設定後、装置が再起動されます。         |
| IPオプション         | Tosフィールドなど、IP通信時のオプション設定を行います。設定後、装置が再起動されます。 |
| 通信モード           | 通信モードの設定を行います。                                |
| 最大通信速度          | ISDNとIPそれぞれの最大通信速度を設定します。                     |
| ISDN            | ISDNに関する設定を行います。                              |
| H.323           | ゲートキーパなどH.323に関する設定を行います。                     |
| SIP             | SIPサーバに関する設定を行います。                            |


## IP ネットワーク

**1** 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」 を表示します。

**2** 「環境設定」 アイコンを選択します。

① 「Environment」アイコン(環境設定)を選び、 を押します。

**3** 「ネットワーク設定」 アイコンを選択します。

① 「Network」アイコン(ネットワーク設定)を選び、 を押します。

**4** 「IP ネットワーク」 を選択します。

① 「IP ネットワーク」を選び、 を押します。

**5** IP ネットワークを設定します。

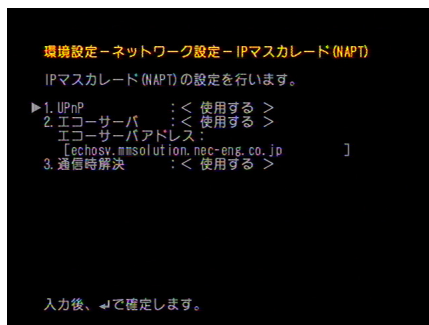
「DHCP機能」、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の登録手順は、「初期設定」の「**3** IP ネットワークを設定します。」(1-12ページ)と同じです。設定後、装置が再起動されます。



## IP マスカレード (NAPT)

### 1 IP マスカレード (NAPT) を設定します。

|        |  |
|--------|--|
| UPnP   | UPnP (Universal Plug and Play) に対応しているルータに接続する場合は「使用する」を選びます。<br>通常は変更しないでお使いください。 |
| エコーサーバ | エコーサーバを使用する場合は「使用する」を選びます。<br>「使用する」を選んだ場合は、エコーサーバアドレスとして「IPアドレスまたはURL名」を設定します。    |
| 通信時解決  | 端末間でアドレス解決を行う場合は「使用する」を設定します。  |




① 「UPnP」を選び、「使用する」または「使用しない」を設定します。

② 「エコーサーバ」を選び、「使用する」または「使用しない」を設定します。

「使用する」を選択した場合の「IPアドレスまたはURL」の初期値は弊社エコーサーバ (echosv.mmsolution.nec-eng.co.jp) に設定されています。

③ 「通信時解決」を選び、「使用する」、「使用しない」を設定します。

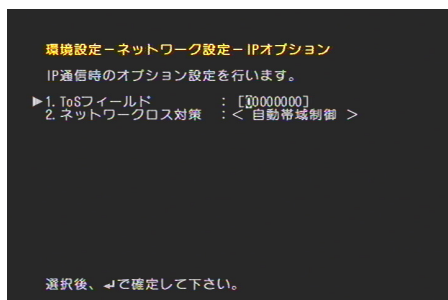
④ 設定が終わったら、 を押します。

設定後、装置が再起動されます。

## IP オプション

### 1 IP 通信時のオプションを設定します。

|             |   |
|-------------|---|
| ToSフィールド    | IP通信を行う際の処理の優先度を設定します。<br>通常は変更しないでお使いください。   |
| ネットワーククロス対策 | ADSLなどの帯域保証のないベストエフォート型のネットワークを使用した場合、通信中の画像データや音声データが紛失 (パケットロス) することがあります。<br>パケットロスの発生するネットワークで安定した通信を確保するために、通信する帯域をネットワークの状況に応じて、自動的に可変させる機能 (自動帯域制御) または、誤り訂正機能により、データの紛失や誤りを検出した場合にデータを再送することなく復元して安定した通信を確保します。 |



① 「ToSフィールド」を選び、ToSフィールド値を入力します。

ToSフィールドを設定しない場合は、「00000000」のままお使いください。

② 「ネットワーククロス対策」を選び、「OFF」、「自動帯域制御」、または「誤り訂正」を設定します。

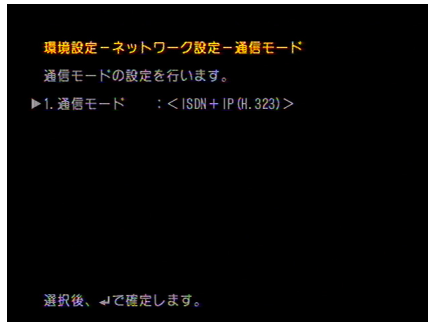
③ 設定が終わったら、 を押します。

設定後、装置が再起動されます。

## 通信モード

### 1 「通信モード」を設定します。

|       |  |
|-------|--|
| 通信モード | 通信モードを「ISDN」、「IP (H.323)」、「ISDN+IP (H.323)」、「IP (SIP)」、「ISDN+IP (SIP)」から選択します。 |
|-------|--|



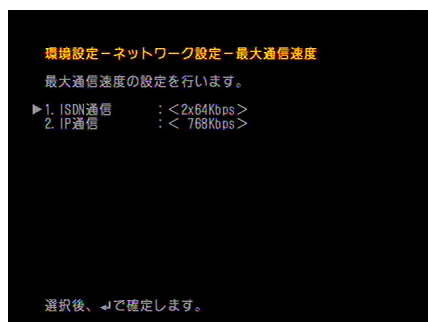
① 「通信モード」を選び、「ISDN」、「IP(H.323)」、「ISDN+IP(H.323)」、「IP(SIP)」、「ISDN+IP(SIP)」を設定します。

② 設定が終わったら  を押します。

## 最大通信速度

### 1 「最大通信速度」を設定します。

|        |   |
|--------|---|
| 最大通信速度 | ISDNとIPそれぞれの通信速度を設定します。<br>「ISDN通信」では、「64Kbps」、「2x64Kbps」から設定します。<br>「IP通信」では、「64Kbps」、「128Kbps」、「D128Kbps」、「192Kbps」、「256Kbps」、「320Kbps」、「384Kbps」、「512Kbps」、「768Kbps」、「1152Kbps」、「1472Kbps」、「1536Kbps」、「1920Kbps」から設定します。 |
|--------|---|



① 「最大通信速度」を選び、「ISDN通信速度」または「IP通信速度」を設定します。

「ISDN通信」で、通信料金を節約したい場合は「64Kbps」を設定し、「環境設定」-「詳細設定」-「オーディオ関連」-「音声符号化モード」(3-15ページ)を「G.728」に設定してください。

通信速度はダイヤル発信時に指定することもできます（「直接ダイヤル」(2-2ページ)参照）。

「IP通信」では、ネットワークの速度に合わせて設定してください。

エラーが多い場合に速度を下げると改善されることがあります。

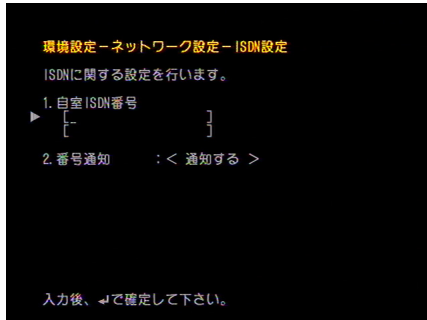
通信速度はダイヤル発信時に指定することもできます。


② 設定が終わったら  を押します。

## ISDN

### 1 ISDN に関する設定をします。

|          |  |
|----------|--|
| 自室ISDN番号 | 本機を接続するISDN回線の電話番号を登録します。                |
| 番号通知     | 発信時にこちらの番号を「通知する」、「通知しない」、「契約に従う」から選びます。 |

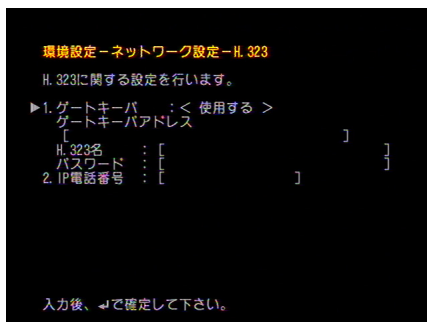



- ① 「自室ISDN番号」を選び、ISDN回線の電話番号を入力します。
- ② 「番号通知」を選び、「通知する」、「通知しない」、または「契約に従う」を設定します。
- ③ 設定が終わったら、を押します。

## H.323

### 1 H.323 に関する設定をします。

|        |   |
|--------|---|
| ゲートキーパ | ゲートキーパを使用する場合は、「使用する」を選びます。「使用する」を選んだ場合は、「ゲートキーパアドレス」、「H.323名」、「パスワード」を設定します。 |
| IP電話番号 | ゲートキーパを使用する場合、IPアドレスの発信ではなく、電話番号での接続が可能です。ネットワーク管理者の指示に従いIP電話番号を設定します。        |



- ① 「ゲートキーパ」を選び、「使用する」または「使用しない」を設定します。
- ② 「IP電話番号」を選び、数字キーで入力します。
- ③ 設定が終わったら、を押します。

# SIP

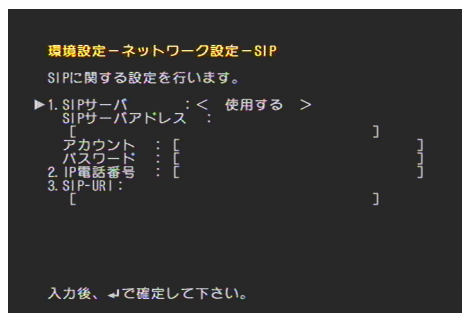
## 1 SIPに関する設定をします。

### SIP [Session Initiation Protocol]について

インターネット上で、音声通話やテレビ会議など動画による通信を目的に開発された通信セッションの制御を行うプロトコルです。現在、IP電話で多く使用されています。

IPネットワーク上で通信を行う場合、SIPプロキシサーバ、登録サーバ、リダイレクトサーバを総称してSIPサーバと呼びます。

|         |   |
|---------|---|
| SIPサーバ  | SIPサーバを使用する場合は、「使用する」を選択します。「使用する」を選んだ場合は、「SIPサーバアドレス」、「アカウント」、「パスワード」を設定します。 |
| IP電話番号  | SIPサーバを使用する場合、IPアドレスの発信ではなく、電話番号による接続が可能です。ネットワーク管理者の指示に従いIP電話番号を設定します。       |
| SIP-URI | SIPサーバを使用する場合、SIPサーバで定義されるRI情報を設定します。ネットワーク管理者の指示に従いSIP-RIを設定します。             |



#### ①「SIPサーバ」を選び「使用する」または「使用しない」を選択します。

「使用する」を選んだ場合、「SIPサーバアドレス」、「アカウント」、「パスワード」を設定します。

「SIPサーバアドレス」には、IPアドレスを取得している場合には、IPアドレスを入力します。URLを取得している場合には、URLを入力します。

#### ②「IP電話番号」を選び、数字キーで入力します。

#### ③「SIP-URI」を選択し、SIP-URI情報を入力します。

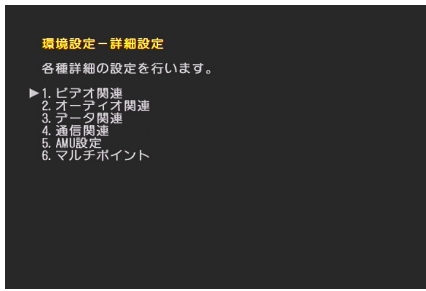
#### ④設定が終わったら、を押します。

登録状態の確認を行うには、メインメニュー表示状態で、右側に「IP-T：IP電話番号」が表示されているか確認してください。番号が表示されているときは、SIPサーバに登録ができている状態です。

### 注意：SIPプロトコルによる通信を行う際は、以下の設定をご確認ください。

- 通信モード設定(3-10ページ)を参照のうえ、「ISDN+IP(SIP)」または「IP(SIP)」に設定して下さい。
- 通話したい相手がH.323プロトコルを使用していると、接続できません。接続の際には、相手が設定しているプロトコルを確認してください。

## 詳細設定 ▶▶▶



各種詳細の設定を行います。

|         |  |
|---------|--|
| ビデオ関連   | 映像に関する設定を行います。   |
| オーディオ関連 | 音声に関する設定を行います。   |
| データ関連   | データ通信に関する設定を行います。  |
| 通信関連    | 通信に関する設定を行います。   |
| AMU設定   | Advanced Microphone Unitに関する設定を行います。                                     |
| マルチポイント | 本体に内蔵する簡易的なマルチポイント機能の設定を行います。<br>ソフトウェアオプション（3-27ページ）が有効となっている場合のみ表示します。 |

### ビデオ関連

**1** 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」 を表示します。

**2** 「環境設定」 アイコンを選択します。

① 「Environment」アイコン(環境設定)を選び、 を押します。

**3** 「詳細設定」 アイコンを選択します。

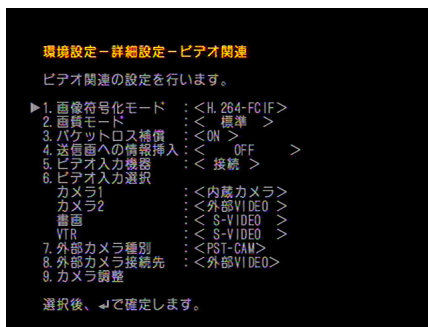
① 「Details」アイコン(詳細設定)を選び、 を押します。

**4** 「ビデオ関連」 を選択します。

① 「ビデオ関連」を選び、 を押します。

## 5 ビデオ関連の設定を行います。

|           |  |
|-----------|--|
| 画質符号化モード  | 画質符号化モードを「H261-QCIF」、「H261-FCIF」、「H263優先」、「H264優先」から選びます。                              |
| 画質モード     | 画質モードを「画質優先」、「標準」、「動き優先」から選びます。  |
| パケットロス補償  | パケットロス補償をON/OFFから選びます。   |
| 送信画への情報挿入 | 送信画に挿入する情報を「OFF」、「時刻」、「地点名」、「地点名+時刻」から選びます。  |
| ビデオ入力機器   | 「ビデオ入力機器」の接続を「接続」、「未接続」から選びます。   |
| ビデオ入力選択   | [カメラ1]、[カメラ2]、[書画]、[VTR]の各ボタンを押したときに「内蔵カメラ」、「外部VIDEO」、「S-VIDEO」、「なし」のどの画像を表示するかを設定します。 |
| 外部カメラ種別   | 接続できる外部カメラは「PST-CAM」となっています。   |
| 外部カメラ接続先  | 外部カメラの接続先を「外部VIDEO」、「S-VIDEO」から選びます。   |
| カメラ調整     | 「明るさ」、「コントラスト」などの調整をします。   |



### 1 「画質符号化モード」を設定します。

768Kbps未満では、「H.263優先」に設定した場合 H.263モードで通信し、「H.264優先」に設定した場合 H.264モードで通信します。

また、768Kbps以上ではH.261モードで通信します。

通信する相手先の機能により、設定したモードで通信できないことがあります。

### 2 「画質モード」を設定します。

- 「標準」  
通常はこの設定でご利用ください。
- 「動き優先」  
動きのある被写体を映す場合に適しています。
- 「画質優先」  
動きの少ない被写体を映す場合に適しています。

### 3 「パケットロス補償」を選び、「ON」または「OFF」を設定します。

「ON」を選択した場合は、IP通信中のデータエラーによる画像劣化を補償します。

### 4 「送信画への情報挿入」を選び、「OFF」、「時刻」、「地点名」、「地点名+時刻」を設定します。

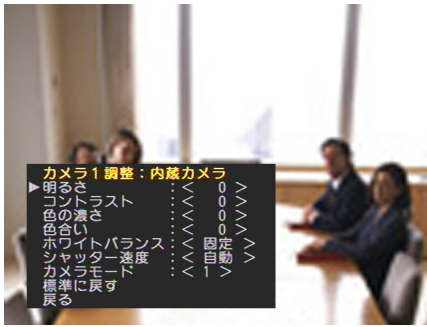
### 5 「ビデオ入力機器」を選び、「接続」または「未接続」を設定します。

監視(受信側)などでビデオ入力機器(外部カメラやVTR)を接続しない場合は「未接続」を選びます。

### 6 「ビデオ入力選択」を選び、[カメラ1]、[カメラ2]、[書画]、[VTR]ボタンを押したときに表示する画像を設定します。

### 7 「外部カメラ種別」が「PST-CAM」となっていることを確認します。

### 8 「外部カメラ接続先」を選び、「外部VIDEO」または「S-VIDEO」から選択します。



**9 「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「ホワイトバランス」、「シャッター速度」、「カメラモード」を設定します。**

- 「明るさ」  
明るさを-16から+16の範囲で設定します。
- 「コントラスト」  
コントラストを-16から+16の範囲で設定します。
- 「色の濃さ」  
色の濃さを-16から+16の範囲で設定します。

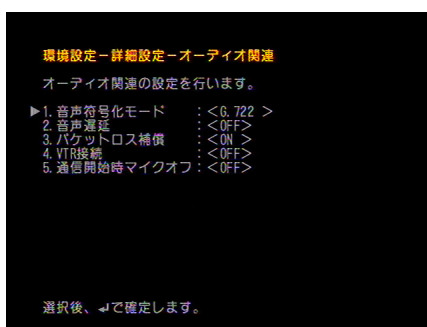
- 「色合い」  
色合いを-16から+16の範囲で設定します。
- 「ホワイトバランス」  
「固定」または「自動」を設定します。  
「自動」にした場合は、カメラのホワイトバランスを自動的に設定します。
- 「シャッター速度」  
「固定」または「自動」を設定します。  
「自動」に設定した場合は、カメラのシャッター速度を自動的に設定します。  
「自動」に設定した場合は蛍光灯の下などでちらつき（フリッカ）が出ることがあります。このような場合は「固定」に設定してください。
- 「カメラモード」  
環境に応じて設定を行います。
- 「標準に戻す」  
カメラ調整の設定を標準（初期値）に戻します。

**10 設定が終わったら  を押します。**

## オーディオ関連

### 1 「オーディオ関連」を設定します。

|            |   |
|------------|---|
| 音声符号化モード   | 音声符号化モードを「G.711μ」、「G.711A」、「G.722」、「G.728」、「G.729」、「OFF」から選びます。 |
| 音声遅延       | 音声遅延をON/OFFから選びます。  |
| パケットロス補償   | パケットロス補償をON/OFFから選びます。  |
| VTR接続      | VTR接続をON/OFFから選びます。   |
| 通信開始時マイクオフ | 通信開始時マイクオフをON/OFFから選びます。  |



**1 「音声符号化モード」を設定します。**

「G.729」、「G.728」、「G.711」、「G.722」の順に高音質になります。  
テレビ会議では「G.722」を使用することをお勧めします。

**2 「音声遅延」を選び、「ON」または「OFF」を設定します。**

「ON」を選んだ場合は、音声を遅延させて画像と音声の時間差を補正します。

**3 「パケットロス補償」を選び、「ON」または「OFF」を設定します。**

「ON」を選んだ場合は、IP通信中のデータエラーによる音質の劣化を防ぎます。

**4 「VTR接続」を設定します。**

「AUDIO」にVTRの音声信号を接続する場合、「ON」に設定します。

**5 「通話開始時マイクオフ」を選び、「ON」または「OFF」を設定します。**

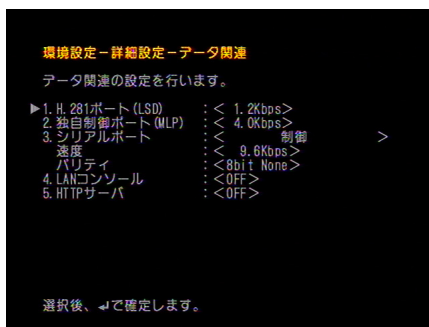
「環境設定」-「詳細設定」-「通信関連」-「着信モード」を「自動」に設定しているときに、通話開始時にマイクオフにしたい場合は「ON」に設定します（「通信関連」3-17ページ参照）。

**6 設定が終わったら、  を押します。**

## データ関連

### 1 「データ関連」を設定します。

|                |   |
|----------------|---|
| H.281ポート (LSD) | H.281ポート (LSD) の速度を「OFF」、「1.2Kbps」、「4.8Kbps」、「6.4Kbps」から選びます。H.281準拠のリモートカメラ制御機能を使用する場合に設定します。      |
| 独自制御ポート (MLP)  | ISDN回線の制御ポート (MLP) の速度を「OFF」、「4.0Kbps」、「6.4Kbps」、「14.4Kbps」から選びます。ご利用の回線に合わせ、制御ポート (MLP) の速度を設定します。 |
| シリアルポート接続      | シリアルポートへ接続する機器を「制御」、「カメラ」、「データ転送」、「データ転送 (TC2000互換)」から選びます。   |
| LANコンソール       | LANコンソールをON/OFFから選びます。  |
| HTTPサーバ        | HTTPサーバをON/OFFから選びます。ブラウザより各種設定を行う場合に設定します。   |



#### 1 「H.281ポート (LSD)」を選び、「OFF」、「1.2Kbps」、「4.8Kbps」、「6.4Kbps」のいずれかを設定します。

H.281プロトコルに準拠した端末との接続で、リモートカメラ制御機能を使用する場合に設定します。なお、MediaPoint IP2同士の通信では、H.281プロトコル以外に独自プロトコルを使用してリモートカメラ制御を行うことができます。

#### 2 「独自制御ポート (MLP)」を選び、「OFF」、「4.0Kbps」、「6.4Kbps」、「14.4Kbps」のいずれかを設定します。

ISDN回線をご利用の場合にのみ設定します。IP回線をご利用の場合は「6.4Kbps」に設定してください。H.281ポート (LSD) と独自制御ポート (MLP) は、下記の組合せで設定することができます。

| H.281ポート (LSD) | 独自制御ポート (MLP)                |
|----------------|------------------------------|
| OFF            | OFF、4.0Kbps、6.4Kbps、14.4Kbps |
| 1.2Kbps        | OFF、4.0Kbps                  |
| 4.8Kbps        | OFF                          |
| 6.4Kbps        | OFF                          |

#### 3 「シリアルポート接続」を設定します。

- 「制御」  
シリアルポートにパソコンを接続してMediaPoint IP2を制御するときに選びます。
- 「カメラ」  
リモート制御に対応している外部カメラを使うときに選びます。  
「カメラ」を選んだ場合は「速度」、「パリティ」は自動的に設定されるので設定する必要はありません。
- 「データ転送」  
シリアルポートにパソコン等を接続して、相手先とデータ転送を行うときに選びます。MediaPoint IP2同士の通信でのみ使用可能です。

#### 4 「速度」を選び、「9.6Kbps」から「115.2Kbps」の範囲で設定します。

「データ転送 (TC2000互換)」を選択した場合は「DR信号 ON出力」を設定します。

#### 5 「パリティ」を選び、「8bit Even」、「8bit None」、「7bit Even」、「7bit Odd」のいずれかを設定します。

#### 6 「LANコンソール」を設定します。

- 「ON」  
LANコンソール機能が使用できる状態になります。
- 「OFF」  
LANコンソール機能を使用できないようにします。

#### 7 「HTTPサーバ」を選び、「ON」または「OFF」を設定します。

HTTPサーバの使用方法については、ホームページを参照してください。

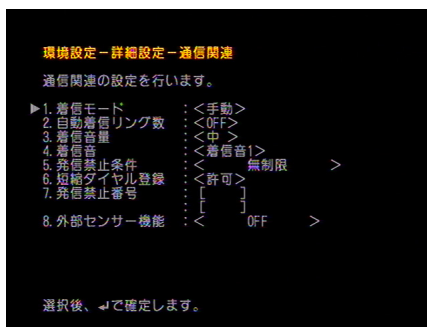
#### 8 設定が終わったら を押します。




## 通信関連

### 1 「通信関連」を設定します。

|          |   |
|----------|---|
| 着信モード    | 着信モードを「手動」、「自動」、「選択」、「拒否」から選びます。                          |
| 自動着信音    | 自動着信するときに着信音を鳴らす秒数を設定します。自動着信音を「OFF」～「9回」の範囲から選びます。       |
| 着信音量     | 着信音量を「OFF」、「小」、「中」、「大」から選びます。                             |
| 着信音      | 着信音を「着信音1」、「着信音2」、「着信音3」から選びます。                           |
| 発信禁止条件   | 発信禁止条件を「無制限」、「短縮ダイヤルのみ可」、「直接ダイヤル禁止」から選びます。                |
| 短縮ダイヤル登録 | 短縮ダイヤル登録を「許可」、「禁止」から選びます。                                 |
| 発信禁止番号   | 発信を禁止するダイヤルの先頭の番号を入力します。                                  |
| 外部センサー機能 | 外部センサー発信を「OFF」、「ON発信/OFF切断」、「ON発信」、「OFF切断」、「マイク検出」から選びます。 |



#### 1 「着信モード」を設定します。

- 「手動」  
着信したときに  を押して応答します。
- 「自動」  
着信したときに自動的に応答します。
- 「選択」  
短縮ダイヤルに登録してある相手のみ着信します。
- 「拒否」  
着信を自動的に拒否します。監視用などで発信専用にする場合などに使用します。

#### 2 「自動着信音」を選び、「OFF」～「9回」の範囲で設定します。

監視システムなどで着信音を鳴らさずに着信する場合は「OFF」に設定してください。

#### 3 「着信音量」を選び、「OFF」、「小」、「中」、「大」を設定します。

「着信音量」を「OFF」に設定し「着信モード」を「手動」に設定すると、呼出音が鳴らないので、本機を発信専用として使用する場合に便利です。

#### 4 「着信音」を選び、「着信音1」、「着信音2」、「着信音3」のいずれかで設定します。

#### 5 「発信禁止条件」を設定します。

- 「無制限」  
直接ダイヤル、短縮ダイヤル、通信履歴のいずれでも発信することができます。
- 「短縮ダイヤルのみ可」  
短縮ダイヤルに設定されている相手先にしかなんて発信できなくなります。
- 「直接ダイヤル禁止」  
直接ダイヤルで発信することができなくなります。「短縮ダイヤル」と「通信履歴」でのみ発信することができます。「短縮ダイヤルのみ可」、「直接ダイヤル禁止」は発信を規制する場合などに使用します。

#### 6 「短縮ダイヤル登録」を選び、「許可」または「禁止」を設定します。

- 「許可」  
短縮ダイヤルの登録ができます。
- 「禁止」  
短縮ダイヤルの登録ができなくなります（「短縮ダイヤルの登録」3-4ページ参照）。「発信禁止条件」と合わせて設定します。

#### 7 「発信禁止番号」を選び、数字キーで番号を設定します。

例えば海外など、特定の番号へ発信できないように設定することができます。

- ⑧ 「外部センサー機能」を選び、「OFF」、「ON発信／OFF切断」、「ON発信」、「OFF切断」、「マイク検出」を設定します。

SERIALコネクタに赤外線センサーなどを接続すると、センサー検出した場合にあらかじめ設定した相手に自動的に発信します。

短縮ダイヤルの98～100番に登録した相手に100、99、98番の順で発信します。

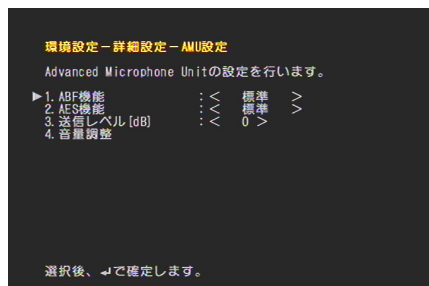
「外部センサー機能」の動作は、装置背面のSERIALコネクタのDTR(7番ピン)とDSR(8番ピン)間の接点操作(OPEN/CLOSE)にて行います。

- ⑨ 設定が終わったら  を押します。

## AMU 設定

### 1 AMU 設定を行います。

|       |  |
|-------|--|
| ABF機能 | 話者方向を推定し、背景ノイズを抑圧するとともに発話レベルを最適化するABF (Adaptive Beam Forming) 機能の効果を設定します。 |
| AES機能 | エコーサプレッサ機能の効果を設定します。   |
| 送信レベル | AMUの送信レベル調整を行います。  |
| 音量調整  | ご使用になる環境の調整を行います。  |



- ① 「ABF機能」を選び、「効果-小」、「標準」、「効果-大」のいずれかを設定します。

ABF機能は、話者方向を推定し、背景ノイズを抑圧するとともに発話レベルを最適化する機能です。

- ② 「AES機能」を選び、「効果-小」、「標準」、「効果-大」のいずれかを設定します。

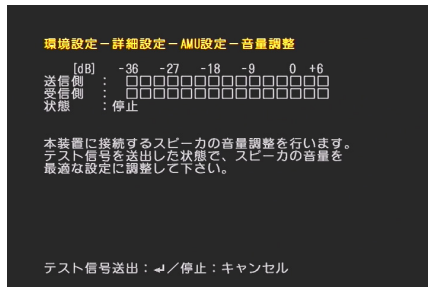
- ③ AMUの送信レベルを調整します。


レベルは3dBごとに設定できます。

- ④ 本体に接続するスピーカーの音量調整(3-19ページ)を行います。

## 2 音量調整を行います。

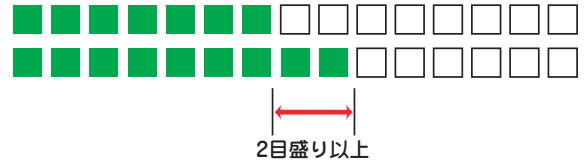
ご使用になる環境に最適なスピーカー音量とすることにより、エコーのない、臨場感のある会議を提供します。



- 1 音量調整メニューにおいて  を押すと、本体に接続するテレビモニタまたはスピーカーからホワイトノイズが出力されます。この状態で送信レベルと受信レベルのインジケータの差を確認してください。

調整中はできるだけ物音を立てずに静かな状態で行ってください。

- 2 送信レベルと受信レベルのインジケータにおいて、インジケータの差が2目盛り以上であることを確認してください。



送信レベルと受信レベルのインジケータの差が、2目盛り未満の場合、次の調整が必要になります。

- (1) 本体と接続するテレビモニタまたはスピーカーのボリュームを下げてください。
- (2) AMUと本体に接続するテレビモニタまたはスピーカーとの距離を離して配置してください。

調整終了後、キャンセルキーを押すとテスト信号送出が停止し、音声トレーニング動作が自動的に開始します。トレーニング動作中に送信レベルのインジケータが徐々に低下していくことを確認してください。(テレビモニタまたはスピーカーからAMUに回り込むエコーが徐々に消去していくことを確認します。)

- 3 トレーニング動作は開始から約5秒後に停止します。

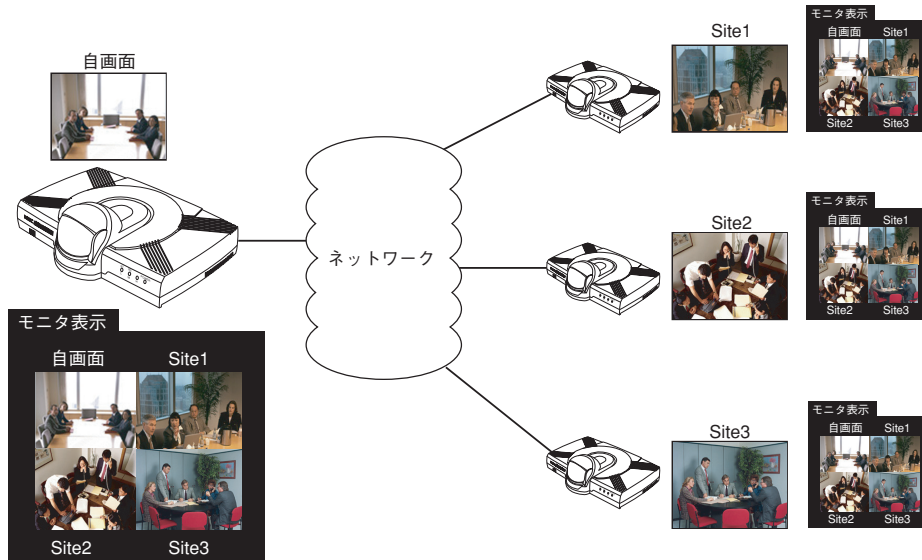
エコーが消去されない場合には次のことが考えられます。

- 送信レベルと受信レベルのインジケータの差が2目盛り未満である。
- ご使用になる部屋の騒音が大きい、静かではない。

## マルチポイント

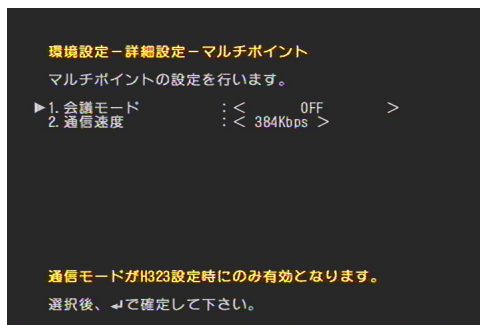
### 1 「マルチポイント」の設定を行います。

マルチポイント機能を使用することにより、自局を含め、最大4地点までの多地点会議が可能です。マルチポイント機能を使った多地点会議の代表的システムの構成例を示します。



代表的システムの構成図

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 会議モード | マルチポイントオプションのモードを選択します。 |
| 通信速度  | マルチポイント動作時の通信速度を選択します。  |



- 1 「会議モード」を選び、「OFF」、「H.261/単一表示」、「H.261/4分割表示」、「H264/単一表示」を設定します。

#### モードの画面表示について

- 合成画面モードは、内蔵MCU動作する端末側の画像と参加する地点の画像を合成して参加地点に配信します。
- 単一画面モードは、内蔵MCU動作する端末側において、発言した参加端末の地点の画像を、他の参加地点に配信します。

- 2 「通信速度」を選び、MCUとして動作する場合の通信速度設定を行います。

本装置のマルチポイント機能では、以下のような設定となります。

「H.261/単一表示」、「H.261/4分割表示」選択時

画像モード：H.261

音声モード：G722

「H.264/単一表示」選択時

画像モード：H.264

音声モード：G.722

### 多地点会議を開始するには

- 2地点で通信している状態で、リモコンの「接続」ボタンを押し、接続メニューからダイヤルします。発信方法は「回線接続」(2-2ページ)を参照してください。
- 2地点で通信している状態で、別の地点から着信を受信した場合、着信画面を表示します。着信を許可した場合、着信処理の後、3地点での会議となります。

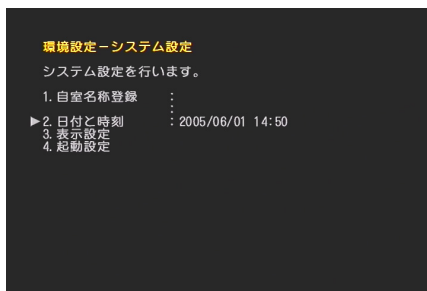
### 多地点会議を終了するには

- リモコンの切断キーを押すと、多地点会議に参加している地点が切断リストに表示されます。切断したい相手を選択し、確定します。

### 注意事項

- 内蔵MCUでは、設定した会議モードの画像符号化方式に対応していない端末が接続された場合、電話接続(音声のみ)となります。  
例：H.264一単一画面に設定した状態で、H.261の画像符号化方式のみサポートした端末を接続した場合。
- 音声のみの端末が接続された場合、発言をした場合でも画像は切り替わりません。

## システム設定 ▶▶▶



「システム設定」メニューは以下の4つのメニューで構成されています。

|          |  |
|----------|--|
| 自室名称の登録  | 相手先に表示される自室の名前を登録します。「漢字」と「英文字」の2種類の名前を登録できます。自室名称または、名前は通信時に相手先に表示されるので、テレビ会議で使用する場合は登録してお使いください。 |
| 日付と時刻の設定 | テレビ会議やビデオ監視中にテレビに表示する時刻を設定します。   |
| 表示設定     | テレビ会議やビデオ監視中に、テレビ画面にPIPや時刻を表示するかを設定します。  |
| 起動設定     | 起動時動作の設定をします。  |

## 自室名称の登録

**1** 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。

**2** 「ユーザ設定」アイコンを選択します。

① 「User Setting」アイコン(ユーザ設定)を選び、を押します。

**3** 「システム設定」アイコンを選択します。

① 「System」アイコン(システム設定)を選び、を押します。

**4** 「自室名称の登録」を選択します。

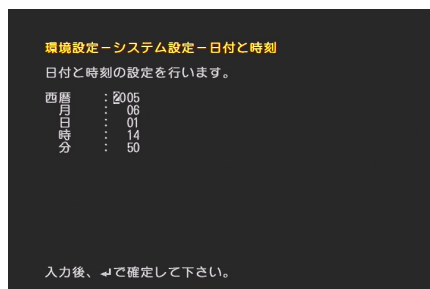
① 「自室名称の登録」を選び、を押します。


**5** 自室名称を登録します。

自室名称の登録手順は、「初期設定」の「**2** 自室名称を設定します。」(1-11ページ)と同じです。

## 日付と時刻の設定

**1** 「日付と時刻の設定」を設定します。

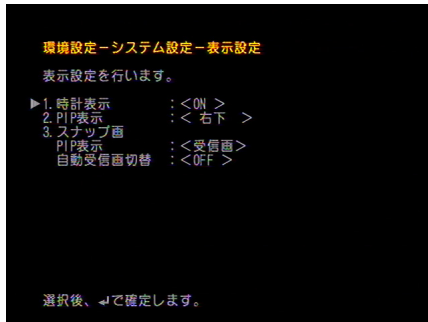



① 「西暦」、「月」、「日」、「時」、「分」にカーソルを合わせ、数字キーで入力後、を押します。

## 表示設定

### 1 「表示設定」を設定します。

|       |  |
|-------|--|
| 時計表示  | テレビ会議やビデオ監視中に、テレビ画面に時刻表示を行うかどうかを設定します。   |
| PIP表示 | [PIP] ボタンを押したときの子画面の表示方法を設定します。          |
| スナップ画 | スナップ画を表示する際に、受信画と送信画のどちらを子画面表示するかを設定します。 |

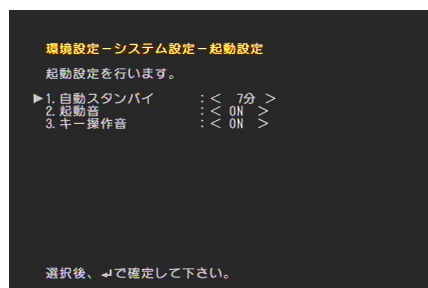



- ① 「時計表示」にカーソルを合わせ、ON/OFFを設定します。
- ② 「PIP表示」にカーソルを合わせ、「PIPキー」、「右下」、「左下」、「左上」、「右上」を設定します。
- ③ 「スナップ画」の「PIP表示」にカーソルを合わせ、「受信画」または「送信画」を設定します。
- ④ 「自動受信画切替」にカーソルを合わせ、「OFF」～「10分」を設定します。
- ⑤ 設定が終わったら、を押します。

## 起動設定

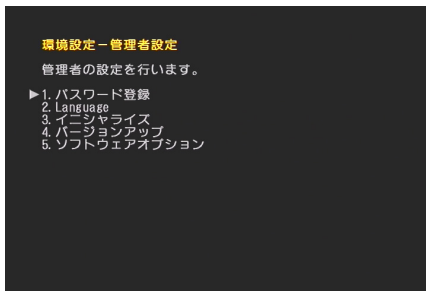
### 1 「起動設定」を設定します。

|         |   |
|---------|---|
| 自動スタンバイ | 自動スタンバイを行うか行わないかを設定します。また、自動スタンバイを行う場合は、スタンバイモードにするまでの時間を設定します。自動スタンバイを設定すると、非通信状態で設定した時間操作を行わないと自動的にスタンバイモードになります。 |
| 起動音     | MediaPoint IP2起動時（電源ONまたはスタンバイ解除時）に起動音を鳴らすかどうかを設定します。   |
| キー操作音   | リモコンの操作音を鳴らすかどうかを設定します。   |



- ① 「自動スタンバイ」を選び、自動スタンバイに関する設定をします。自動スタンバイを行うまでの時間を「OFF」～「10分」まで1分単位で設定できます。
- ② 「起動音」を選び、「ON」または「OFF」を設定します。
- ③ 「キー操作音」を選び、「ON」または「OFF」を設定します。
- ④ 設定が終わったら、を押します。

## 管理者設定 ▶▶▶



パスワードや言語など、管理者用の設定を行います。

## パスワード登録

**1** 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」 を表示します。

**2** 「環境設定」 アイコンを選択します。

① 「Environment」アイコン(環境設定)を選び、 を押します。

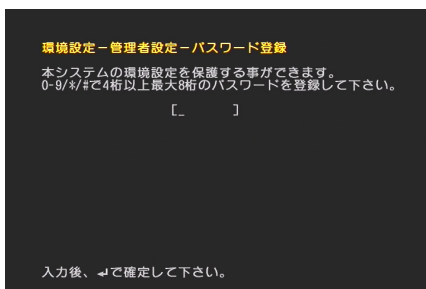
**3** 「管理者設定」 アイコンを選択します。

① 「Administrator」アイコン(管理者設定)を選び、 を押します。

**4** 「パスワード登録」 を選択します。

① 「パスワード登録」を選び、 を押します。

**5** パスワードを登録します。



① 「数字キー」で4桁以上8桁以内のパスワードを登録します。

無断で環境設定を変更できないように制限することができます。

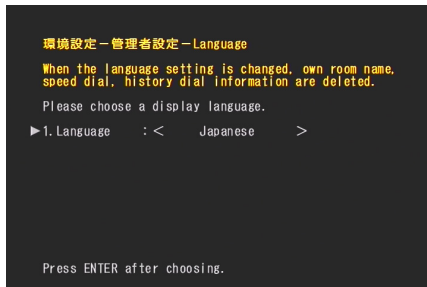
パスワードが未登録の場合は、パスワードによる制御を行いません。

② 設定が終わったら  を押します。



## Language

### 1 「Language」を設定します。



#### ① 「Language」を「Japanese」、「English」、「Chinese(Simplified)」から設定します。

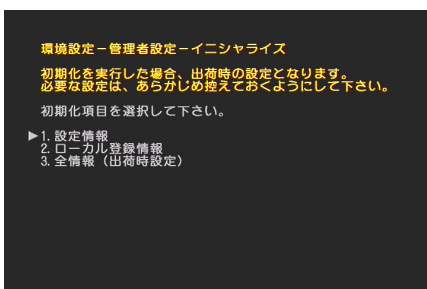
本装置は、「Japanese」、「English」、「Chinese (Simplified)」での表示が可能です。使用する環境に合わせて設定を変更してください。

なお、言語を変更した場合、自室名称・短縮ダイヤル登録・通信履歴の情報が消去されます。

設定変更後、装置が再起動されます。

## イニシャライズ

### 1 「イニシャライズ」を設定します。



#### ① 「設定情報」、「ローカル登録情報」、「全情報(出荷時設定)」から初期化する項目を選び、を押します。

#### ② 確認画面が表示され、を押すと初期化されます。

初期化とともに装置が再起動されます。

## バージョンアップ

MediaPoint IP2、AMUのファームウェアを最新のバージョンに書き換えます。  
バージョンアップには「メインメニュー」-「環境設定」-「管理者設定」からアップデートする方法と、センターサーバへ接続しアップデートする方法の2通りがあります。

### メインメニューからのバージョンアップ方法

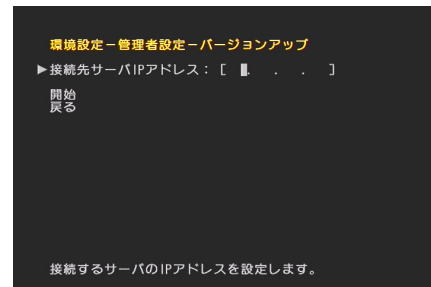
#### 1 「バージョンアップ」を選択します。


- 1 ホームページより最新バージョンのS/Wをダウンロードします。

マニュアルに従ってお手持ちのパソコンにインストールします。

- 2 パソコン側のS/Wを起動し、待機状態にします。

- 3 MediaPoint IP2のメニューよりバージョンアップを選択します。



- 4 パソコン側のIPアドレスを入力し、を押します。

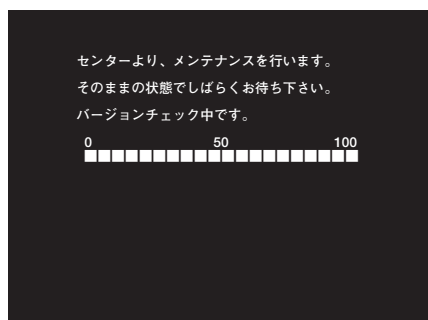
- 5 バージョンアップを開始します。

終了後、再起動されます。

### センターサーバへのアクセスによるバージョンアップ方法

MediaPoint IP2のバージョンアップは、センターサーバへIP回線またはISDN回線で接続すると自動的に行われます。

#### 1 センターサーバに接続します。



- 1 センターサーバに接続します。

センターサーバのアドレスおよび電話番号は、ホームページでご確認ください。

ホームページ： <http://www.nec-eng.com/>

- 2 ファームウェアのバージョンチェックが行われ、プログラムのダウンロード完了後、更新されます。

使用しているファームウェアのバージョンが古い場合のみ、センターサーバからプログラムがダウンロードされ、更新されます。

- 3 更新されたプログラムの確認が行われた後、再起動されます。

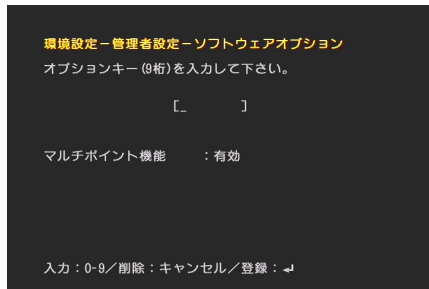
MediaPoint IP2の再起動後、自動的に接続するAMUのバージョンがチェックされ、AMUのバージョンが古い場合、バージョンアップを開始します。

## ソフトウェアオプション

### 1 「ソフトウェアオプション」を設定します。

本装置の機能を拡張するオプションソフトウェアの登録を行います。  
オプション機能を有効とするには、本装置のシリアル番号が必要となります。

|             |   |
|-------------|---|
| ソフトウェアオプション | オプション機能の登録を行います。<br>登録されているオプションの一覧が表示されます。 |
|-------------|---|



① オプション機能の一覧が表示されます。

② 購入したオプションキーを入力します。

オプションのキーコードは9桁です。正確に入力してください。

③ 入力が終わったら  で登録します。

登録後、装置が再起動されます。再起動後、登録した機能が有効になっていることを確認してください。

## メンテナンス



本機のソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、シリアル番号、MACアドレスの確認およびループバックテスト、カメラ調整を行います。

## ループバック▶▶▶

**1** [メニュー] ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。

**2** 「メンテナンス」アイコンを選択します。

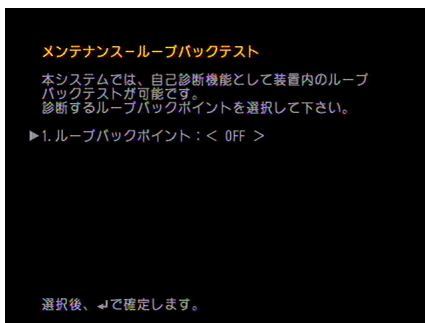
① 「Maintenance」アイコン(メンテナンス)を選び、を押します。

**3** 「ループバックテスト」アイコンを選択します。

① 「Loopback」アイコン(ループバックテスト)を選び、を押します。

**4** ループバックテストを行います。

装置が正常に動作しているか、外部機器と正しく接続されているか確認するためのループバックテストを行います。



① 「ループバックテスト」を選び、「OFF」、「VIDEO」、「AUDIO」、「ISDN」、「IP」を設定します。

回線が接続されていないときには「OFF」、「VIDEO」、「AUDIO」、「ISDN」、「IP」から選ぶことができます。回線が接続されているときには、「OFF」、「VIDEO」、「AUDIO」から選ぶことができます。

② を押します。

ループバックテストを開始します。

## カメラ調整 ▶▶▶

「環境設定」-「ビデオ関連」のカメラ調整(3-15ページ)を参照してください。

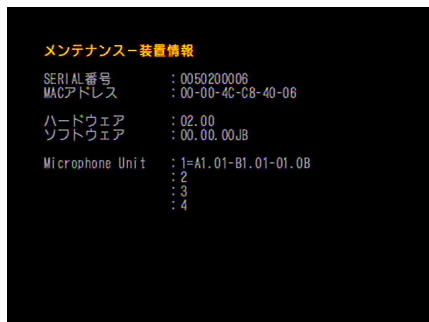
## 装置情報 ▶▶▶

### 1 「装置情報」アイコンを選択します。

①「Information」アイコン(装置情報)を選び、を押します。

### 2 装置情報が確認できます。

|                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| SERIAL番号        | シリアル番号を表示します。シリアル番号は変更できません。   |
| MACアドレス         | MACアドレスを表示します。MACアドレスは変更できません。 |
| ハードウェア          | ハードウェアバージョンを表示します。             |
| ソフトウェア          | ソフトウェアバージョンを表示します。             |
| Microphone Unit | 接続するAMUのバージョンを表示します。           |



確認ができたなら、[キャンセル]ボタンで前の画面に戻ります。





|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 多地点会議 .....                   | 4-2 |
| オペレータ権を獲得する .....             | 4-2 |
| 画像の送信元を選択する (Broadcast) ..... | 4-3 |
| 自分の画像を送信する (Send) .....       | 4-4 |
| 表示する相手先を選ぶ (Receive) .....    | 4-5 |

## 多地点会議

複数の相手とテレビ会議(多地点会議)を行います。

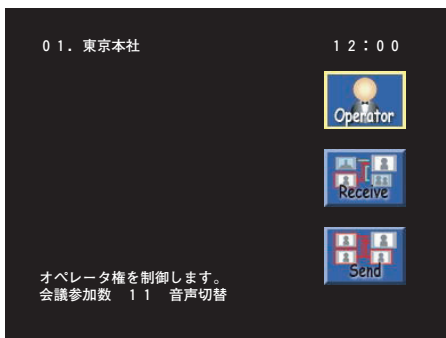
多地点会議で会議の制御を行うには、多地点会議制御機能をサポートした多地点接続装置(MCU=MultiPoint Control Unit)に接続する必要があります。

### オペレータ権を獲得する ▶▶▶

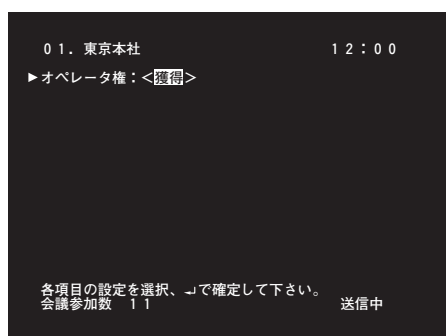
多地点会議の参加者全員に見せる画像を選択する権限をもつ参加者をオペレータと呼びます。  
権限が必要な場合は、オペレータ権を獲得します。


**1 MCU (MultiPoint Control Unit) に接続します。**


**2 「ステータス」 ボタンを 2 回押し、「多地点会議アイコン」 画面を表示します。**




**3 オペレータ権を獲得します。**



① 「Operator」アイコンを選び、 を押しします。

② [ $\leftarrow$ ]、[ $\rightarrow$ ]ボタンを押してオペレータ権の「獲得」を選び、 を押しします。

会議中にオペレータ権を放棄する場合は、「放棄」を選び、 を押しします。

すでにオペレータ権を獲得している相手先がある場合は、その相手先がオペレータ権を放棄しないとオペレータ権を獲得することができません。

**4 「多地点会議アイコン」 画面に戻ります。**

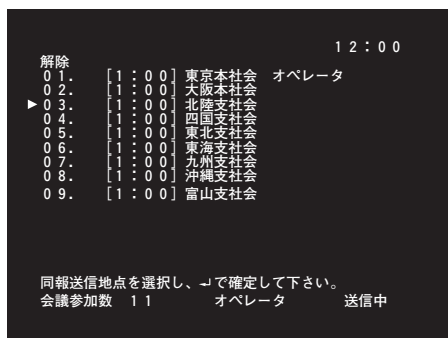
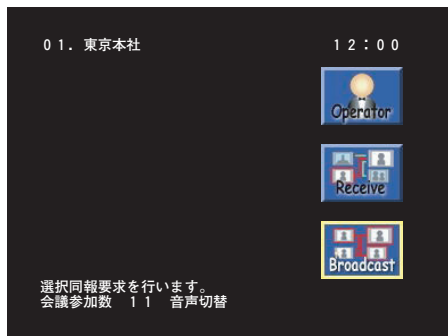



## 画像の送信元を選択する (Broadcast) ▶▶▶

多地点会議の参加者全員に見せる画像を選択します。  
この操作を行うためには、オペレータ権を獲得する必要があります。


**1 「ステータス」 ボタンを2回押し、「多地点会議アイコン」画面を表示します。**


**2 多地点会議の参加者全員に見せる画像を選択します。**



**1 「Broadcast」アイコンを選び、を押します。**

「Broadcast」アイコンは、オペレータ権を取得している場合のみ表示されます。

**2 見せたい画像の相手先を選び、を押します。**

見せている相手先を解除したい場合は、「解除」を選び、を押します。

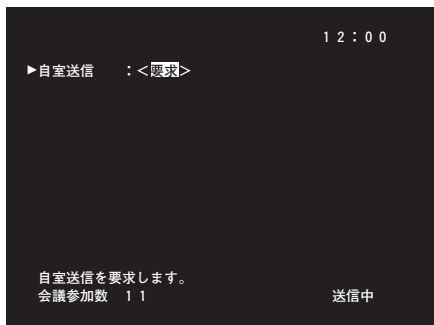
**3 「多地点会議アイコン」画面に戻ります。**




## 自分の画像を送信する (Send) ▶▶▶

多地点会議の参加者全員に自分の画像を送信します。  
この操作は、オペレータ権を獲得していない場合のみ行うことができます。

**1 「ステータス」 ボタンを2回押し、「多地点会議アイコン」画面を表示します。**

**2 多地点会議の参加者全員に自室の画像を送信します。**



- ① 「Send」アイコンを選び、を押します。  
「Send」アイコンは、オペレータ権がない場合のみ表示されます。
- ② [◀]、[▶]ボタンを押して自室送信の「要求」を選び、を押します。  
自室送信の要求を解除する場合は、「解除」を選び、を押します。

**3 「多地点会議アイコン」画面に戻ります。**

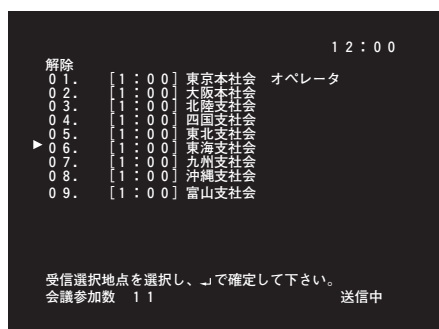
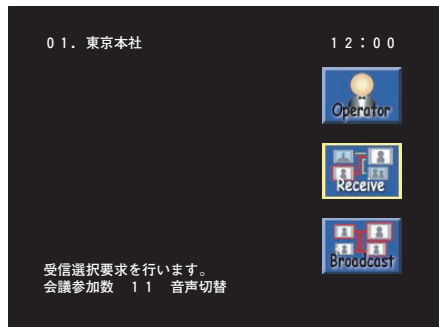
## 表示する相手先を選ぶ (Receive) ▶▶▶


多地点会議中に表示する相手先を選びます。



受信選択した状態では、同報元の切り替えにかかわらず表示される相手先が固定されます。

**1 「ステータス」 ボタンを2回押し、「多地点会議アイコン」画面を表示します。**

**2 画像を見たい相手先を選択します。**



**1 「Receive」アイコンを選び、を押します。**

**2 画像を見たい相手先を選び、を押します。**  
見ている相手先を解除する場合は、「解除」を選び、  
を押します。

**3 「多地点会議アイコン」画面に戻ります。**





|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 故障かな？ .....               | 5-2 |
| MediaPoint IP2の情報提供 ..... | 5-2 |
| アラームメッセージ .....           | 5-3 |
| よくある質問と回答 .....           | 5-5 |

## 故障かな？

| 症状                     | 対策  |
|------------------------|---|
| POWERランプ<br>(緑) が点灯しない | <ul style="list-style-type: none"> <li>MediaPoint IP2本体にACアダプタが接続されているか確認してください。</li> <li>ACアダプタが電源コンセントに接続されているか確認してください。</li> <li>電源コンセントからACアダプタのプラグを抜き、再度電源コンセントに接続してください。</li> </ul>   |
| テレビの画面に何も映らない          | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビのチャンネルまたは入力切替を確認してください。</li> <li>ビデオケーブルの接続がゆるくなっていないか確認してください。</li> <li>MediaPoint IP2本体の主電源スイッチがONになっているか確認してください。</li> <li>MediaPoint IP2本体の「POWER」ランプが橙色に点灯 (OFFの状態) していないか確認してください。リモートコントローラの電源ボタンを押して緑色に点灯 (ONの状態) することを確認してください。</li> <li>カメラの設定が、使用するカメラ (カメラ1/カメラ2) になっているか確認してください。</li> </ul> |
| 画像が乱れている               | <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオケーブルの接触がゆるくなっていないか確認してください。</li> <li>IP回線でベストエフォート型の回線を使用している場合には、回線が混雑すると通信中に画像が途切れたり、止まったりすることがあります。混雑していない回線を使用してください。</li> </ul>  |
| 画面の端が切れている             | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビの画面表示位置がずれている可能性があります。テレビで画面表示位置の調節を行ってください。</li> </ul>   |
| スピーカから相手の声が聞こえない       | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量が最低になっていないか確認してください。</li> <li>相手のマイクがオフになっていないか確認してください。</li> </ul>  |
| 自分の声が相手に伝わらない          | <ul style="list-style-type: none"> <li>AMUがマイクオフになっていないか確認してください。</li> <li>AMUの適性な集音性能は半径1メートル程度に設定されています。AMUから1メートル程度の距離でお話してください。</li> </ul>  |
| ハウリングがおこる              | <ul style="list-style-type: none"> <li>AMUを壁や遮へい物のそばから離してください。</li> <li>スピーカやマイクロホンをふさいでいないか確認し、適当な音量に調節してください。</li> </ul>  |
| AMUランプ (橙) が点灯したまま     | <ul style="list-style-type: none"> <li>AMU接続ケーブルが間違っって接続されていないか確認してください。</li> </ul>   |
| リモコンが効かない              | <ul style="list-style-type: none"> <li>MediaPoint IP2本体に向けて操作してください。</li> <li>リモートコントローラの電池が切れていないか確認してください。</li> <li>電池を交換する際には、正しい向きで2本同時に新しい電池に交換してください。</li> </ul>  |
| 相手先とつながらない             | <ul style="list-style-type: none"> <li>回線ケーブルがつながっているか確認してください。</li> <li>IP回線でルータに接続している場合は、ルータの設定がH.323で通信ができるように設定されているか確認してください。</li> <li>「切断理由コード」 (6-3ページ) を参照して対処してください。</li> </ul>   |

## MediaPoint IP2 の情報提供

本書をダウンロードしたホームページ(<http://www.nec-eng.com/>)では、MediaPoint IP2に関する以下のような情報を提供しています (提供予定のものも含む)。

- Q&A
- 最新ファームウェアに関する情報
- オプション機器情報
- IPネットワークへの接続のための技術情報
- 他のテレビ会議システムとの接続実績に関する情報

## アラームメッセージ

テレビモニタ画面に端末の状態が表示されることがあります。  
表示された場合は、以下を参考に確認してください。

| 適用回線       | メッセージ  | 処置 (一例)  |
|------------|--|--|
| ISDN<br>IP | LINE   | (1) 本体の「ISDN」端子とTA(DSU)側の「S/T」端子、または、本体の「LAN」端子とメディアコンバータ側 (もしくはDSLモデム、ケーブルモデム等) の「LAN」端子に回線ケーブルが正しく接続されているか確認してください。<br>(2) TA (DSU) またはADSLモデムと壁のモジュージャックが正しく接続されているか確認してください。 |
|            | VDWN   | ・内蔵カメラを使用している場合は、内蔵カメラ故障が考えられます。修理については、VoicePointセンターまでご相談ください。<br>・外部カメラを使用している場合は、カメラの電源が入っていないか、故障している可能性があります。カメラの電源を入れ、再度確認してください。それでもアラームが発生する場合は、カメラを交換してください。           |
|            | FROM   | 本体メモリ故障です。修理については、VoicePointセンターまでご相談ください。   |
|            | PARA   |  |
|            | VREC   | 通信が確立するまでは、本アラームが表示されることがありますが、これは正しい動作で、異常ありません。<br>ただし、通信開始後、しばらくしてもアラームが発生している、もしくは通信中の状態でアラームが発生し、しばらくしても復旧しない場合は、通信上の問題が考えられます。VoicePointセンターまでお問い合わせください。                  |
|            | FEC  |  |
| ISDN       | REC  |  |
|            | CRC  |  |
|            | RMT REC  |  |
| IP         | PPP LINK   | 「環境設定」→「ネットワーク設定」にて、「PPPoE機能」の部分の設定を確認してください。設定内容については、契約されている回線事業者、またはインターネットプロバイダにご確認ください。   |
|            | PPP NG   | 「環境設定」→「ネットワーク設定」にて、「PPPoE機能」の部分の「ユーザ名」「パスワード」が正しく入力されているか確認してください。入力を間違えている可能性があります。  |
|            | DHCP   | 「環境設定」→「ネットワーク設定」にて、「DHCP機能」の部分の設定を確認してください。設定内容については、契約されている回線事業者、またはインターネットプロバイダにご確認ください。  |
|            | ROUTER   | ルータとの通信異常です。ルータを確認してください。  |
|            | UPnP   | UPnP通信異常です。ルータを確認してください。   |
|            | PORT MAP   | UPnPで空いているポートがなく、ポートマッピング異常です。ルータを確認してください。  |
|            | WAN  | ルータのWAN側が接続されていません。接続を確認してください。  |
| RTP LOSS   | IP通信回線で通信速度が低下しています。<br>・IP通信回線は、ベストエフォート型のため、たびたびこのようなメッセージが表示されます。コンテンツサービスや会議などの大切な通信には安定したISDN回線をお勧めします。 |  |

## 運用上の注意

IP通信回線(光ファイバー、ADSL、ケーブルテレビ回線など)は、一般に、通信速度および接続可能性について、最善を尽くすように努力をするだけで一切保証しない、という前提で安価で高速な通信を提供しています(ベストエフォート型の通信)。

以下のような場合には通信中に映像や音声が乱れたり・途切れたり、回線が切断したりすることがあります。

- 他の人が同時に通信して回線が混み合った場合
- 異なる通信事業者やプロバイダに加入している端末同士で接続した場合
- IP通信回線の通信事業者が保守作業中の場合

問題なく通信できているように見えても、曜日・時間帯・その通信事業者への加入者数の増減・イベントの有無などにより状況が変わります。

ADSLやケーブルテレビ回線は、「下り」(相手から情報を受け取る方向)の通信速度に比べて、「上り」(自分から相手に情報を届ける方向)の通信速度が遅く設定されています。テレビ電話通信は「上り」の通信速度が重要なため、ADSLやケーブルテレビの場合、通信中に映像や音声が乱れたり、途切れたり、回線が切断されたりする可能性が高くなります。

「上り」の通信速度も速い、光ファイバーのご利用をお勧めします。



## よくある質問と回答

### IP接続でのTV会議に際して気をつける点は？

ADSLやFTTHを用いた接続では以下の点に注意してください。

- (1)通信速度や品質が、TV会議で使用できる水準を満たしているか評価するようにしてください(回線評価ソフトを弊社で準備しています)。
- (2)時間帯によって通信回線の混み具合が変化することが懸念されるため、音切れやビデオ入力エラー(動画の静止)が許されない重要な会議ではISDNの併用をご提案ください。
- (3)企業内LANにおいては、既の実施されているセキュリティ対策やQoSの部分について客先より十分なヒアリングを行い、ネットワークの強化も含めて改善案をご提案ください。

### 帯域はどれくらい確保すれば良いのですか？

目安として2地点間でIP接続384KbpsのTV会議を行う場合は、上りと下りでそれぞれ約500Kbpsの帯域(IPレベルの帯域)が必要となります。

PCで動作する回線評価ソフトを準備していますので、ご使用になる回線を評価してから導入してください。

### フレッツADSLやBフレッツを使って多地点会議はできますか？

MCUをADSL・Bフレッツに接続すると通信帯域不足になる可能性が高いため、ADSL・Bフレッツでのご利用はお勧めできません。MCU設置場所では通信帯域を確保できるネットワークを利用してください。また、通信帯域を確保するため、全地点で同一のプロバイダを利用されることをお勧めします。

### 「NAPT」や「UPnP」という設定項目がありますが、これは何ですか？

ADSLやFTTHへブロードバンドルータ(ルータ機能を搭載したADSL宅内装置も同様です)を用いて接続している場合は、ルータのIPマスカレード(NAPT)機能により、送信元IPアドレスやポート番号が変換されるため、TV会議での通信を行うことができない場合があります。

そうした問題を解決する1つの方法が「UPnP」です。

UPnPはブロードバンドルータを自動的に設定し、NAPT越えの通信を行う機能です。

MediaPoint IP2のUPnPを有効にすると、NAPT越えの通信に必要な設定が、ブロードバンドルータとMediaPoint IP2間で自動的に行われます。

### 社内LANに接続して使いたいのですが可能でしょうか？

社内LANをご利用になる場合は、セキュリティや接続の関係上、問題が発生するケースが多く見られます(ファイアーウォールやQoSの問題など)。

TV会議を行う拠点間にファイアーウォールが存在している場合は、通信上で制限が設けられているために、そのままではTV会議をご利用頂くことができない場合があります。

また、ファイアーウォール以外にQoSも考慮する必要があります。

導入にあたっては、一度ネットワーク管理部門へご相談されることをお勧めします。

### ファイアーウォールがTV会議を行う拠点間に存在している場合に、運用上の問題は発生しないでしょうか？

TV会議を行う拠点間にファイアーウォールが設置されている場合は、TV会議端末のIPアドレスをフィルタリングする条件から外す設定(いわゆる「穴をあける」設定)を施す必要があります。

また、TV会議の通信帯域を確保するため、ルータやスイッチに対してQoSや優先制御の設定が必要となります。

これらの設定作業に対してネットワーク機器を導入されているベンダー様へご相談をお願いします。





|                |      |
|----------------|------|
| アフターサービス ..... | 6-2  |
| 切断理由コード .....  | 6-3  |
| ポート番号 .....    | 6-8  |
| コネクタ情報 .....   | 6-9  |
| オプション品 .....   | 6-9  |
| 出荷時設定情報 .....  | 6-10 |
| 仕様 .....       | 6-13 |

## アフターサービス

### 保証書について

- この製品には保証書がついています。
- ご購入時に「販売店名・保障期間・購入年月日」が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。販売店記入がない場合は領収書を提示していただくことがありますので、領収書も一緒に保管してください。
- 保障期間はご購入日から1年間です。
- 保証書を紛失したり、分解や改造したりすると保障期間内であっても修理は有料になります。また、修理できないことがあります。

### 保障期間中の修理は

- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保障期間経過後の修理は

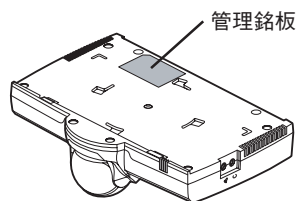
- 修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により、有料で修理させていただきます。

### 修理を依頼するときは、次のことをお知らせください

- お名前、住所、電話番号
- 機種名：MediaPoint IP2
- 型番：TC-2200C/TC-2200N
- ご購入年月日
- シリアルナンバー(本体製造番号)
- 故障の状態(できるだけ詳しく)

### 管理銘板について

- 製品の底面にシリアルナンバーなどが書かれた管理銘板が貼られています。万一故障した場合の、修理時などに必要となりますので、ご確認ください。



### アフターサービスについて

- 修理を依頼する前に、もう一度本書をご覧になり、故障かどうかご確認の上、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターにご依頼ください。  
VoicePointセンター：フリーダイヤル0120-343010  
E-mail：mp@nece-it.jp.nec.com  
ホームページ：http://www.nec-eng.com/

## 切断理由コード

通信中に回線が切断されると、テレビモニタの画面に3桁の数字(切断理由コード)とメッセージが表示されます。以下の数字が表示された場合は、お客様ご自身で解決できる問題ですので、切断理由を参考に確認してください。

| 適用回線              | メッセージ             | 切断理由コード                 | 切断理由                       | 処置 (一例)                     |
|-------------------|-------------------|-------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| ISDN              | この番号は現在使われておりません。 | 001                     | 現在欠番のため、着信ができません。          | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。      |
|                   | 使用可能な回線がありません。    | 002                     | 指定中継網を認識できません。             |                             |
|                   | 相手先へのルートがありません。   | 003                     | 相手先へのルートがありません。            |                             |
|                   | 相手端末と通信できません。     | 006                     | 指定されたチャンネルが利用できません。        | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。   |
| このチャンネルは現在使用中です。  | 007               | 既に設定されているチャンネルに接続されました。 |                            |                             |
| ISDN IP           | 正常に切断しました。        | 016                     | 呼の切断復旧要求により切断しました。         | —                           |
|                   | 相手側が話し中 (通信中) です。 | 017                     | 現在、相手側が他と通信中です。            | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。   |
| ISDN              | 相手端末の応答がありません。    | 018                     | 呼設定のメッセージに対して応答がありません。     | 相手側端末の状態を確認してください。          |
|                   | 相手を呼びましたが、誰も出ません。 | 019                     | 呼出メッセージ受信後、応答がありません。       |                             |
|                   | 接続できませんでした。       | 020                     | 移動局ログオフまたは着移動局不通です。        | 回線の保守担当部門または、回線事業者へご相談ください。 |
| ISDN IP           | 相手側に接続を拒否されました。   | 021                     | 着信呼を拒否されました。               | 相手側端末の状態を確認してください。          |
| ISDN              | 相手先の番号が変わりました。    | 022                     | 相手の端末番号が変更になっています。         | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。      |
|                   | 着信が取り消されました。      | 026                     | ユーザが着信呼を得られませんでした。         | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。   |
|                   | 相手側の電源が切れています。    | 027                     | 相手側端末の電源が入っていません。          | 相手側端末の状態を確認してください。          |
| ISDN IP           | 番号に誤りがあります。       | 028                     | 無効なフォーマットまたは不完全番号です。       | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。      |
| ISDN              | このサービスは現在利用できません。 | 029                     | 要求のファシリティが提供できません。         | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。  |
|                   | 接続できませんでした。       | 030                     | 状態問い合わせを受信しました。            | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。      |
|                   | 正常に切断しました。        | 031                     | その他の正常状況を報告しました。           | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。   |
|                   | 相手端末と通信できません。     | 034                     | 現在、利用可能な回線/チャンネルがありません。    |                             |
|                   | 回線の異常です。          | 038                     | 網が機能的に正常ではありません。           |                             |
| ISDN IP           | 相手側の回線異常です。       | 041                     | 一時的に網が正常ではありません。           | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。   |
| ISDN              | ただいま回線が混み合っています。  | 042                     | 交換機が混み合っています。              |                             |
|                   | 接続できませんでした。       | 043                     | アクセス情報要素を相手に送信できません。       |                             |
|                   | 相手端末と通信できません。     | 044                     | 通知された回線/チャンネルが提供できません。     |                             |
|                   | ただいま回線が混み合っています。  | 047                     | その他の網が混み合っている状態の報告です。      |                             |
| このサービスは現在利用できません。 | 049               | 要求されたQoSが提供されないことの報告です。 | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |                             |
|                   | 050               | 要求ファシリティの手続きがされていません。   |                            |                             |

| 適用回線        | メッセージ                            | 切断理由コード         | 切断理由                         | 処置（一例）                     |
|-------------|----------------------------------|-----------------|------------------------------|----------------------------|
| ISDN        | 接続できませんでした。                      | 057             | 未許可の伝達能力が要求されました。            | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
|             | このサービスは現在利用できません。                | 058             | 現在利用不可の伝達能力が要求されました。         |                            |
|             | この回線は現在利用できません。                  | 063             | その他のサービス利用不可の報告です。           |                            |
|             | このサービスは現在利用できません。                | 065             | 要求の伝達能力をサポートしていません。          |                            |
|             |                                  | 066             | 要求のチャンネル種別をサポートしていません。       |                            |
|             |                                  | 069             | 要求の付加サービスをサポートしていません。        |                            |
|             | 56kモードしか利用できません。                 | 070             | 制限デジタル伝達能力のみサポートしていることの報告です。 |                            |
|             | このサービスは現在利用できません。                | 079             | サービス未提供の報告です。                |                            |
|             | もう一度おかけ直してください。                  | 081             | 現在使用の呼番号と異なる呼番号を使用しています。     | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
|             |                                  |                 | 082                          |                            |
| 接続できませんでした。 |                                  | 083             | 中断呼識別番号と異なる番号が使用されました。       |                            |
|             |                                  | 084             | 使用中である中断呼識別番号が使用されました。       |                            |
|             |                                  | 085             | 呼識別番号が使用されていません。             |                            |
|             |                                  | 086             | 既に中断呼が切断されています。              |                            |
| 087         |                                  | グループメンバではありません。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。    |                            |
| ISDN IP     | 相手端末の種類が違います。                    | 088             | 端末装置の属性が一致しません。              | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
| ISDN        | 使用可能な回線がありません。                   | 091             | 中継網のフォーマットが正常ではありません。        |                            |
|             | 接続できませんでした。                      | 095             | その他の無効メッセージです。               | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
|             |                                  | 096             | 必要な情報要素が不足しています。             |                            |
|             |                                  | 097             | 未定義/未提供メッセージを受信しました。         | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
|             |                                  | 098             | メッセージの不一致です。                 |                            |
|             |                                  | 099             | 情報要素が未定義です。                  |                            |
|             |                                  | 100             | 情報要素の内容が未定義です。               |                            |
|             |                                  | 101             | 受信メッセージと呼状態が不一致です。           |                            |
|             |                                  | 102             | タイマの満了による回復です。               |                            |
|             |                                  | 111             | その他の手順に誤りがあります。              |                            |
| 127         | 動作するための理由表示ができない網でインタワークが発生しました。 |                 |                              |                            |
| ISDN IP     | 相手を呼びましたが、誰も出ません。                | 901             | 発呼時、60秒経過しても応答がありません。        | 相手端末の状態を確認してください。          |
| ISDN        | 電話線が外れています。                      | 903             | 発呼時、回線（レイヤ1）が異常です。           | ISDNケーブルが抜けていないか確認してください。  |
|             | 回線に異常があります。                      | 904             | 発呼時、回線（レイヤ2）が異常です。           | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
|             | 回線異常か、契約が異なります。                  | 905             | 回線が異常かまたは契約が異なります。           |                            |
|             | 回線に異常があります。                      | 906             | 発呼時、回線（レイヤ3）が異常です。           |                            |

| 適用回線             | メッセージ                      | 切断理由コード  | 切断理由   | 処置（一例）   |
|------------------|----------------------------|--|--|--|
| ISDN             | 初期化により切断しました。              | 908  | 網から初期設定要求を受信しました。  | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。                               |
|                  |                            | 909  | リスタート応答待ち時にタイムアウトとなりました。   |  |
|                  | 接続できませんでした。                | 916  | 内部状態不一致（呼状態）です。  | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。                                |
|                  |                            | 917  | レイヤ3初期化未完了です。  |  |
|                  |                            | 918  | レイヤ3初期化失敗です。   |  |
| 919              | 内部状態不一致（CES指定）です。          |  |  |  |
| IP               | 回線がはずれているか、または異常です。        | 920  | イーサネットリンク断です。  | 「ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の設定を確認してください。                        |
|                  | IP接続設定にてPPPoEの設定を確認してください。 | 921  | PPPoEリンク断です。   |  |
|                  | IP接続設定にてユーザ名/パスワードが違います。   | 922  | PPP認証異常です。   |  |
|                  | 自局IPアドレスを設定してください。         | 923  | 自局IPアドレスが未設定です。  | 「ネットワーク設定」にて、IPアドレスの設定を確認してください。                         |
|                  | 自局IPアドレスが未取得です。            | 924  | 自局IPアドレス未取得です。   | 「ネットワーク設定」にて、「DHCP」ならびに「IPアドレス」設定を確認してください。              |
|                  | IPアドレスが変更されました。            | 925  | リースIPアドレスの期間満了です。  | 新しく取得したIPアドレスを確認してください。                                  |
|                  | DNSサーバアドレスが未取得です。          | 926  | DNSのIPアドレス未取得です。   | DNSサーバアドレスの通知がありません。契約されている回線業者またはインターネットプロバイダに確認してください。 |
|                  | 要求URLがDNSに未登録です。           | 927  | 要求URLがDNSに未登録です。   | 契約されている回線業者またはインターネットプロバイダに確認してください。                     |
|                  | DNSサーバに接続できませんでした。         | 928  | DNSサーバへの接続に失敗しました。   | DNSサーバのIPアドレスを確認してください。                                  |
|                  | DNSサーバアドレスを設定して下さい。        | 929  | DNSサーバのIPアドレスが未設定です。   |  |
|                  | ゲートキーバが見つかりませんでした。         | 930  | ゲートキーバへのメッセージ要求に応答がありません。  | ゲートキーバ設定およびゲートキーバを確認してください。                              |
|                  | ゲートキーバに登録できませんでした。         | 931  | ゲートキーバに登録できませんでした。   |  |
|                  | ゲートキーバから参加を拒否されました。        | 932  | ゲートキーバから参加を拒否されました。  | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。                                |
|                  | 接続相手が見つかりませんでした。           | 933  | 接続相手が見つかりませんでした。   | 接続相手の状態およびゲートキーバに登録されているIP電話番号を確認してください。                 |
|                  | IP接続設定に誤りがあります。            | 935  | IPパラメータ異常などでH.323プロトコルスタックが起動できない状態で、発呼要求されました。                                    | 「ネットワーク設定」を確認してください。                                     |
|                  | 相手端末と通信できません。              | 936  | H.323発呼時、TCPコネクションに対するエラー受信で切断しました。  | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。                                |
| ただいま回線が混み合っています。 | 939                        | 一定時間以上、音声RTPパケットロスが継続しました。                                     | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。本現象が継続する場合、帯域不足または回線エラーが考えられます。回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |  |
| 接続できませんでした。      | 950                        | H.225 TCP接続要求に応答がありません。  | 接続に使用するTCPのポート設定を確認してください。   |  |
|                  | 951                        | H.225 setup応答（callproc/alert）待ちで切断（H.225 TCP異常またはタイムアウト）されました。 |  |  |
|                  | 952                        | H.225 connect送信に失敗しました。  |  |  |
|                  | 960                        | 発呼側H.245_TCP接続に失敗（H.245 TCP異常またはタイムアウト）しました。                   |  |  |

| 適用回線 | メッセージ                 | 切断理由コード  | 切断理由   | 処置 (一例)                    |
|------|-----------------------|--|--|----------------------------|
| IP   | 接続できませんでした。           | 961  | 着呼側H245_TCP接続に失敗(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。          | 接続に使用するTCPのポート設定を確認してください。 |
|      |                       | 962  | H245 能力交換中で切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。             |                            |
|      |                       | 963  | マスター/スレーブネゴ中で切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。           |                            |
|      |                       | 964  | 音声チャンネルオープン要求応答待ちで切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。      |                            |
|      |                       | 965  | 画像チャンネルオープン要求応答待ちで切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。      |                            |
|      |                       | 966  | データチャンネルオープン要求応答待ちで切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。     |                            |
|      |                       | 967  | 通信中のコマンド送信失敗(H.245 TCP異常)です。                         |                            |
|      | ルータの異常です。             | 970  | ルータWAN通信不可状態で、発呼がありました。                              | ルータの設定を確認してください。           |
|      |                       | 971  | ルータからdisconnected NOTIFYを受けました。                      |                            |
|      | SIP設定に誤りがあります。        | 972  | GET EXTERNAL IP ADDRESSにルータが無応答です。                   | SIP設定を確認してください。            |
|      |                       | 400  | リクエストが異常なシンタックスのため理解できなかったことを示します。                   |                            |
|      | SIPサーバから接続を拒否されました。   | 401  | リクエストはユーザ認証が必要です。                                    | 相手先のSIPサーバへの登録状況を確認してください。 |
|      |                       | 403  | SIPサーバはリクエストを理解しましたが、実行することを拒否しています。                 |                            |
|      | 相手先がSIPサーバに登録されていません。 | 404  | Request-URIで指定されたドメインにユーザが存在しない、またはそのSIPサーバがダウンしました。 | SIP設定を確認してください。            |
|      |                       | 405  | Request-URIで特定されるアドレスに対して許可されていません。                  |                            |
|      | 接続できませんでした。           | 406  | Acceptヘッダから判断された結果、受け入れられない内容を持っていました。               | SIPサーバ担当部門に確認してください。       |
|      |                       | 407  | プロキシサーバが送信するもので、Proxy認証が必要であることを示します。                |                            |
|      | SIPサーバから応答がありませんでした。  | 408  | リクエストがタイムアウトしました。                                    | 相手先のSIPサーバへの登録状況を確認してください。 |
|      | 接続できませんでした。           | 409  | そのリクエストは現在の状態のリソースと矛盾するため完了できませんでした。                 | SIPサーバ担当部門に確認してください。       |
|      |                       | 410  | リクエストされたリソースがそのSIPサーバでもはや利用不可能で、転送先のアドレスも分からない状態です。  |                            |
|      |                       | 411  | 定義されたContent-Lengthの無いリクエストを拒否しました。                  |                            |
| 412  |                       | 1つ以上のリクエストヘッダフィールドで与えられた条件がSIPサーバ上のテストで不正であると判断しました。 |  |                            |
| 413  |                       | リクエストのエンティティが大きすぎるため拒否しました。                          |  |                            |
|      | 414                   | リクエストURIが長すぎるため拒否しました。                               |  |                            |



| 適用回線 | メッセージ                | 切断理由コード | 切断理由  | 処置 (一例)              |
|------|----------------------|---------|---|----------------------|
| IP   | 接続できませんでした。          | 415     | サポートされていないメディアタイプであるため、SIPサーバはリクエストのサービスを拒否しました。            | SIPサーバ担当部門に確認してください。 |
|      |                      | 416     | Request-URIのURIのスキームがSIPサーバの知らないものなので、SIPサーバはリクエストを処理できません。 |                      |
|      |                      | 417     | Expectリクエストヘッダフィールド拡張が受け入れられません。                            |                      |
|      |                      | 420     | Proxy-RequireまたはRequireヘッダフィールドで指定されたプロトコル拡張をSIPサーバは理解しません。 |                      |
|      |                      | 421     | リクエストを処理するために特定の拡張を必要とします。                                  |                      |
|      |                      | 423     | リクエストによってリフレッシュされたリソースの有効期限時間が短すぎるため、SIPサーバがリクエストを拒否しました。   |                      |
|      |                      | 480     | 着呼側のエンドシステムにうまくコンタクトしたが、着呼側は現在電話を受けられません。                   |                      |
|      |                      | 481     | 既存のどのダイアログやトランザクションにもマッチしないリクエストをUASが受信しました。                |                      |
|      |                      | 482     | SIPサーバがループを検知しました。  |                      |
|      |                      | 483     | SIPサーバが値ゼロのMax-Forwardsヘッダフィールドを含むリクエストを受信しました。             |                      |
|      |                      | 484     | SIPサーバが不完全なRequest-URIを持つリクエストを受信しました。                      |                      |
|      | SIP設定に誤りがあります。       | 485     | Request-URIが不明瞭です。  |                      |
|      | 相手先から切断されました。        | 487     | リクエストはBYEまたはCANCELリクエストで終了させられました。                          |                      |
|      | 接続できませんでした。          | 488     | 受入不能。Request-URIでアドレス指定された特定のリソースに対してのみ適用されます。              |                      |
|      | 着信が取り消されました。         | 491     | 同じダイアログ内にペンディング中のリクエストを持つUASに受け取られました。                      |                      |
|      | 接続できませんでした。          | 493     | 解読不能 (暗号化されています)。   |                      |
|      | SIPサーバ異常のため接続できません。  | 500     | SIPサーバ内部エラー。  |                      |
|      |                      | 501     | SIPサーバはリクエストを遂行するために必要とされる機能をサポートしていません。                    |                      |
|      |                      | 502     | ゲートウェイやProxyとして動作しているSIPサーバがリクエストを実行しようとしたら不正なレスポンスを受信しました。 |                      |
|      |                      | 503     | SIPサーバは一時的な過負荷またはメンテナンスのため、一時的にリクエストを処理できません。               |                      |
|      |                      | 504     | リクエストを完了するために必要なレスポンスを、DNSなどのSIPサーバから受信できなかった。              |                      |
|      |                      | 505     | SIPサーバはリクエストで使用されたSIPプロトコルのバージョンをサポートしていませんが、サポートを拒否しています。  |                      |
|      |                      | 513     | メッセージ長がSIPサーバの処理能力を超えたので、SIPサーバはリクエストを処理できませんでした。           |                      |
|      | 相手先がSIPサーバに登録されていません | 604     | Request-URIで示されたユーザがどこにも存在しません。                             |                      |
|      | 接続できませんでした。          | 606     | コミュニケーションを望んでいるが記述されたセッションを十分にサポートできません。                    |                      |

## ポート番号

### UPnP 対応ルータの場合

MediaPoint IP2はUPnPをサポートしているため、UPnP対応ルータの場合、自動的にポートマッピングを行います(ポートマッピングの設定は必要ありません)。設定に関しては、「ネットワーク設定」(3-7ページ)を参照してください。

### UPnP 非対応ルータの場合

以下のポートマッピング情報を設定してください。

|     | Point-to-Point会議 | 多地点会議*1     |             |
|-----|------------------|-------------|-------------|
|     |                  | 3地点会議       | 4地点会議       |
| TCP | 1720             | 1720        | 1720        |
|     | 51000~51007      | 51000~51007 | 51000~51007 |
|     | 51100            | 51100       | 51100       |
| UDP | 5060、61000~61017 | 61000~61025 | 61000~61033 |

\*1 内蔵MCUにより多地点会議を行う場合には、接続地点数に応じて、UDPが異なります。  
また、多地点(MCU)会議は、H.323 のみ対応となります。

ルータの設定に関しては、ルータの説明書を参照してください。  
ポートマッピングはルータにより、「ポートフォワーディング」、「静的IPマスカレード」、「アドレス変換テーブル」、「静的NAT」などと呼ばれています。

- プロバイダから固定IPアドレスをもらっていない場合は、時間とともにグローバルIPアドレスが変わる場合があります(通信の途中でグローバルIPアドレスが変わる場合もあります)。通信できない場合はルータのWAN側グローバルIPアドレスを確認してください。
- プロバイダによっては、WAN側にプライベートIPアドレスが割り付けられる場合があります。その場合、グローバルIPアドレスを割り付けるサービスに加入する必要があります。業務でご使用になる場合は、固定IPアドレスを取得されることをお勧めします。固定IPアドレスのサービスについては加入されているプロバイダにお問い合わせください。
- PPPoEプロトコルを用いたプロバイダを使っていてADSLモデム/回線終端装置とルータが別装置になっている場合は、ルータのかわりにMediaPoint IP2を接続することで、通信を行うことができます。
- ルータ側で回線の切断を行った場合、しばらく通信ができなくなる場合があります。ルータでの通信ができるようになってからMediaPoint IP2を接続してください。

## コネクタ情報

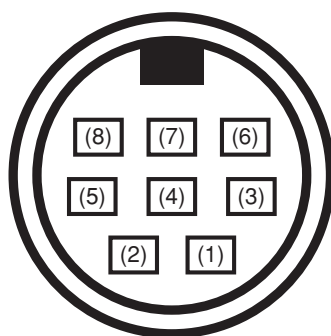
### SERIAL コネクタピン配列 ▶▶▶

MediaPoint IP2のSERIALコネクタは、RS-232C 8ピンコネクタ(メス)です。パソコンなどの外部機器を接続するときは、専用のパソコン接続ケーブル(TC-2100-C02)を使用してください。

パソコン接続ケーブル(TC-2100-C02)のコネクタは、RS-232C 8ピンコネクタ(オス)[MediaPoint IP2側]  
 ↔ DSub9ピンコネクタ(オス)[パソコン側]です。

【形状(MediaPoint IP2本体の背面から見た図)】

【ピンアサイン】



\* ( )内の数字はピン番号です。

| ピン番号 | 信号名 (略称) | 機能          |
|------|----------|-------------|
| (1)  | RTS      | 送信要求        |
| (2)  | CTS      | 送信可         |
| (3)  | SD       | 送信データ       |
| (4)  | GND      | グラウンド       |
| (5)  | RD       | 受信データ       |
| (6)  | —        | —           |
| (7)  | DTR      | データターミナルレディ |
| (8)  | DSR      | データセットレディ   |

## オプション品

| オプション           | 品番           |
|-----------------|--------------|
| 外付けカメラ (ケーブル無し) | PST-CAM2     |
| カメラ制御ケーブル (3m)  | TC-2100-C01  |
| パソコン制御ケーブル (3m) | TC-2100-C02  |
| 専用リモートコントローラ    | TC-2100-RC   |
| AMU             | TC-2200AMU   |
| AMU接続ケーブル (10m) | TC-2200-MC10 |

## 出荷時設定情報

### 設定項目の初期値 ▶▶▶

メインメニューの「環境設定」で設定する各項目の初期値を以下に示します。

| メニュー項目                                |              | 出荷時設定       |                 |
|---------------------------------------|--------------|-------------|-----------------|
| メインメニュー<br>↓<br>環境設定<br>↓<br>ネットワーク設定 | IPネットワーク設定*1 | DHCP        | 使用する            |
|                                       |              | IPアドレス      | -               |
|                                       |              | PPPoE       | 使用しない           |
|                                       | IPマスカレード設定*1 | UPnP        | 使用する            |
|                                       |              | エコーサーバ      | 使用する            |
|                                       |              | 通信時解決       | 使用する            |
|                                       | IPオプション*1    | Tosフィールド    | 00000000        |
|                                       |              | ネットワーククロス対策 | 自動帯域制御          |
|                                       | 通信モード        |             | ISDN/IP (H.323) |
|                                       | 最大通信速度       | ISDN通信      | 2x64Kbps        |
|                                       |              | IP通信        | 768Kbps         |
|                                       | ISDN設定       | ISDN番号      | -               |
|                                       |              | 番号通知        | 通知する            |
|                                       | H.323        | ゲートキーパ      | 使用しない           |
|                                       |              | IPアドレス/URL  | -               |
|                                       |              | H.323名      | -               |
| IP電話番号                                |              | -           |                 |
| SIP                                   | SIPサーバ       | 使用しない       |                 |
|                                       | SIPサーバアドレス   | -           |                 |
|                                       | アカウント        | -           |                 |
|                                       | パスワード        | -           |                 |
|                                       | IP電話番号       | -           |                 |
|                                       | SIP-URI      | -           |                 |
| メインメニュー<br>↓<br>環境設定<br>↓<br>詳細設定     | ビデオ関連設定      | 画像符号化モード*   | H.264優先         |
|                                       |              | 画質モード*      | 標準              |
|                                       |              | パケットロス補償    | ON              |
|                                       |              | 送信画への情報挿入   | OFF             |

\*1 設定後装置が再起動されます。

| メニュー項目                            |           | 出荷時設定                                |                                      |
|-----------------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| メインメニュー<br> <br>環境設定<br> <br>詳細設定 | ビデオ関連設定   | ビデオ入力機器                              | 接続                                   |
|                                   |           | ビデオ入力選択<br>カメラ1<br>カメラ2<br>書画<br>VTR | 内蔵カメラ<br>外部カメラ<br>S-VIDEO<br>S-VIDEO |
|                                   |           | 外部カメラ種別                              | PST-CAM                              |
|                                   |           | 外部カメラ接続先                             | 外部VIDEO                              |
|                                   |           | カメラ調整                                | -                                    |
|                                   | オーディオ関連設定 | 音声符号化モード                             | G.722                                |
|                                   |           | 音声遅延                                 | OFF                                  |
|                                   |           | パケットロス補償                             | ON                                   |
|                                   |           | VTR接続                                | OFF                                  |
|                                   |           | 通信開始時マイク設定                           | OFF                                  |
|                                   | データ通信関連設定 | H.281カメラ制御                           | 1.2Kbps                              |
|                                   |           | 独自制御                                 | 4.0Kbps                              |
|                                   |           | シリアルポート設定                            | カメラ                                  |
|                                   |           | LANコンソール                             | OFF                                  |
|                                   |           | HTTPサーバ                              | OFF                                  |
|                                   | 通信関連設定    | 着信モード                                | 手動                                   |
|                                   |           | 自動着信音                                | OFF                                  |
|                                   |           | 着信音量                                 | 中                                    |
|                                   |           | 着信音種別                                | 着信音1                                 |
|                                   |           | 発信禁止条件                               | 無制限                                  |
|                                   |           | 短縮ダイヤル登録                             | 許可                                   |
|                                   |           | 発信禁止番号                               | -                                    |
|                                   |           | 外部センサ機能                              | OFF                                  |
| AMU設定                             | ABF機能     | 標準                                   |                                      |
|                                   | AES機能     | 標準                                   |                                      |
|                                   | 送信レベル     | 0 [dB]                               |                                      |

| メニュー項目                              |             | 出荷時設定                      |            |
|-------------------------------------|-------------|----------------------------|------------|
| メインメニュー<br> <br>環境設定<br> <br>システム設定 | 自室名称登録      | 登録なし                       |            |
|                                     | 日付と時刻の設定    | -                          |            |
|                                     | 表示設定        | 時計表示                       | ON         |
|                                     |             | PIP表示                      | PIPキー      |
|                                     |             | スナップ表示<br>PIP表示<br>自動受信画切替 | 受信画<br>OFF |
|                                     | 起動設定        | 自動スタンバイ                    | 7分         |
|                                     |             | 起動音                        | ON         |
| キー操作音                               |             | ON                         |            |
| メインメニュー<br> <br>環境設定<br> <br>管理者設定  | パスワード登録     | -                          |            |
|                                     | Language *1 | Japanese                   |            |

\*1 設定後装置が再起動されます。

## 仕様

### MediaPoint IP2 本体 ▶▶▶

| 項目         |   | 仕様  |
|------------|---|---|
| 国際標準<br>対応 | 端末<br>画像符号化<br>音声符号化  | H.320、H.323<br>H.261、H.263、H.264<br>G.711 (3.4kHz)、G.722 (7kHz)、G.728 (3.4kHz)、<br>G724 (3.4kHz)  |
| 通信         | 回線インタフェース ISDN<br>IP (Ethernet)<br><br>通信速度 ISDN<br>IP (Ethernet) | BRI<br>10BASE-T/100BASE-TX (LAN、光ファイバー、ADSL、ケー<br>ブルテレビなど対応)<br>B (64Kbps)、2B (2x64Kbps)<br>64~1920Kbps   |
| 映像         | 内蔵カメラ (カメラ内蔵モデルのみ)<br><br>Video出力<br>Video入力<br>解像度<br>フレーム数      | 47万画素CCDカメラ、電動 (PAN/TILT)<br>光学2倍/デジタル2倍ズーム<br>RCA x 1、S-VIDEO x 1<br>RCA x 1、S-VIDEO x 1<br>CIF (352 x 288)、QCIF (176 x 144)、静止画 (704 x 576)<br>最大30フレーム |
| 音声         | AMU<br>AUDIO出力<br>AUDIO入力   | エコーキャンセラ内蔵マイクを標準添付<br>RCAx2<br>RCAx2  |
| 制御         | システム制御 Irリモコン<br>シリアル<br><br>外部カメラ制御                              | 専用リモートコントローラを添付<br>DIN 8PIN、調歩同期、9.6~115.2Kbps<br>シリアルポートに電動カメラを接続可能<br>リモート制御可能  |
| 諸元         | 質量/寸法<br>電源<br>動作環境   | 1.5kg以下/約280mm (幅) x 200mm (奥行き) x 80mm (高さ)<br>ACアダプタ (100~240V) / 約25W (AMUを含む)<br>温度: 5~35℃、湿度: 20~80% (結露無きこと)  |

### AMU (Advanced-Microphone Unit) ▶▶▶

| 項目        |   | 仕様   |
|-----------|---|--|
| 音声<br>入出力 | 本体接続コネクタ インタフェース<br>コネクタ方式<br><br>内蔵マイク                                 | 専用デジタル音声インタフェース (7kHz帯域)<br>専用コネクタ (専用ケーブルで接続)<br>本体3か所に内蔵                 |
| 表示        | 操作キー<br>LED表示   | マイクオフボタン<br>マイクLEDx3、マイクオフ状態/話者方向などを表示                                     |
| 音声処理      | 符号化方式<br>エコー制御方式 エコーキャンセラ<br>エコーサプレッサ<br>ABF (Adaptive Beam Forming) 機能 | 16bitリニアPCM/7kHz<br>7kHz帯域<br>適応動作<br>話者方向を推定し、背景ノイズを抑圧するとともに話者レベルを最<br>適化 |
| 諸元        | 質量/寸法<br>電源   | 500g以下/約130mm (幅) x 145mm (奥行き) x 42mm (高さ)<br>4W以下 (MediaPoint IP2本体より供給) |

---

## NECエンジニアリング株式会社

MediaPoint IP2に関する技術的なお問い合わせ

### VoicePointセンター

フリーダイヤル：0120-343010

E-mail：mp@nece-it.jp.nec.com

●E-mailでもお問い合わせを承っております。

URL <http://www.nec-eng.com/>

### <NECエンジニアリングの事業全般についてのお問い合わせは下記へ>

営業本部 営業部

〒108-0023 東京都港区芝浦3-17-12 (吾妻ビル4F)

TEL.03-3798-7329

©NEC Engineering, Ltd. 2006

NECエンジニアリングの許可なく複製・改版などを行うことはできません。

本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。